

調査資料 No. 62

# 中南米各集團移住地現況

昭和 41 年版

昭和 41 年 5 月

海外移住事業団



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 8. 10	600
登録No. 02883	23.4
	EM

(まえがき)

この小冊子は、41年1月に発刊された「中南米各集団  
移住地現況」がその後現地事情の変移にともない改訂の必  
要にせまられ、ここに改訂したものである。

内容は出来るだけ簡潔に各移住地の現況を要約し、一目  
で概況の把握が出来る様な様式にした。

本冊子が移住実務担当者のための参考資料となれば幸い  
である。

JICA LIBRARY

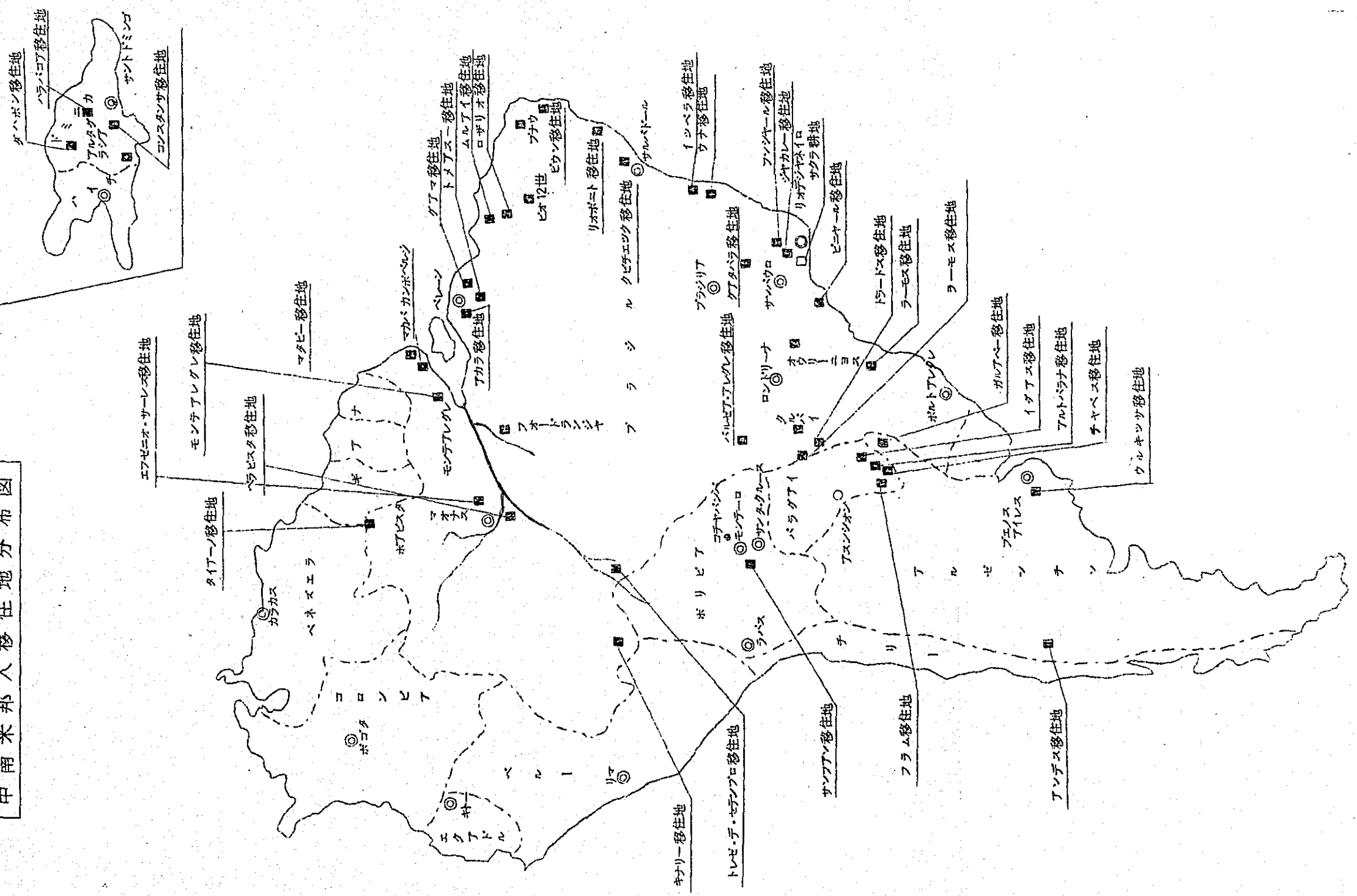


1019631[9]

昭和41年5月

業 務 第 二 部

中南米邦人移住地分布図



— 目 次 —

ブラジル国	頁		
北 伯		サ ク ラ移住地	4 9
第2トメアス—移住地	1	グアタバラ #	5 1
トメアス #	3	ビニヤール #	5 3
グアマ #	7	クルバイ #	5 5
アカラ	5	ドロードス #	5 9
ロザリオ #	9	オウリーニヨス #	5 7
ムルアイ #	1 1	バルゼア、アレグレ #	6 1
マタビー #	1 3	ラーモス #	6 3
カンポベルデ #	1 5	アルゼンチン国	
モンテアレグレ #	1 7	ガルアペー移住地	6 5
ベラビスタ #	1 9	アンデス #	6 7
エフエビニオカールス #	2 1	ウルキツサ #	6 9
タイア—ノ #	2 3	ブラグアイ国	
トレビ、デ、セテンボ #	2 5	イグアス移住地	7 1
キナリー #	2 7	チャベス	7 3
エストラダノバ #	2 9	フラム #	7 5
中 伯		アルトバラナ #	7 7
ビオ 1 2世移住地	3 1	アマンバイ #	7 9
ブナウ #	3 3	ボリビア国	
ピウン #	3 5	サンフアン移住地	8 1
リオ、ポヌート #	3 7	ドミニカ国	
ウナ #	3 9	ダハボン移住地	8 3
イツベラ #	4 1	コンスタンサ #	8 5
クビサエツク #	4 3	ハラバコア #	8 7
南 伯			
フンシヤール 移住地	4 5		
ジャカレー #	4 7		

## ブラジル国北伯

地区名	第2トメアス
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	事業団ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位 置	ベレン市よりアカラ川沿いに約270km(空路約120km) S 1° 50' W 48° 50'
	地 形	標高11~30m(平均20m)概ね平坦地区内をアカラ川の支流クツニ川及びアカラ, ミリン川が横断している。
	地質, 土壌	ラテライト系の肥沃度中程度の土壌で表土は比較的有機質に富む暗灰色砂礫土。
	植生, 林相 気 候	熱帯性原生林に覆われ, アカブその他の有用材も若干混在している。 熱帯性の高温多湿なるも(年間平均25.6℃)ベレン周辺よりは乾湿の変化が顕著である。雨季は12~5月, 乾期は6~11月

社会条件	交 通	本地区からトメアス港まで約40km, 港よりベレン市までは水路で270km, 組合経営の定期船が就航している他, テコテコ機が毎日ベレン~トメアス間を往復している。 目下BR-14国道までの90km道路が計画されている。
	市 場	短期作物は主としてベレン市(人口40万)を対象としているが, 永年作物ビメンタはベレン港を経て国内市場を充し, 北米, ヨーロッパ及びアルゼンチンに輸出されている。
	医療, 教育	診療所は植民地内にある。小学校は植民地内に1校あり, トメアス町内に中学校がある。
	貸与物件	トラック, トラクター, トレーラー, 精米機, 製材機

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											25	9	2	11	47	47
総面積	25,800 Ha															
ロンテ面積	25 Ha															
土地価格	一括払 230,000 分割払 292,100															
支払条件	分割払の場合は頭金23,000。4年据置3年年賦 年賦金額89,700															

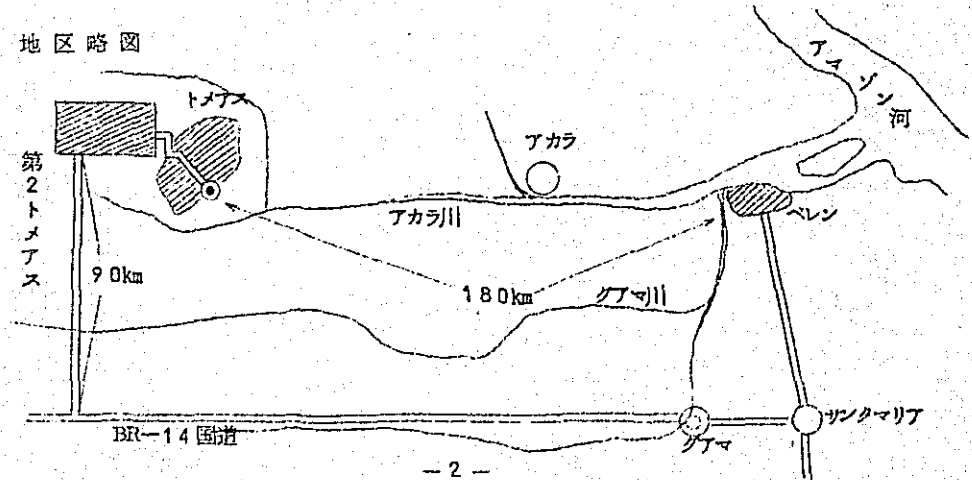
3. 営 農

主作物	永年作物ビメンタ 短期作 稲, マンジョカ
営農の 進め方	ビメンタ一辺倒の経営方式から著類導入等による多角経営方式に移行すべく研究 中である。  ビメンタ植付本数154,250本 40年度収量35 ton 41年度予想150 ton 稲植付面積92Ha, 40年収量 120 ton

4. 特記事項及び問題点

本入植地はビメンタを主体にその増産を目的として建設された、アマゾン地域唯一の事業団直営移住地であり、イグアスと並んで重点推進移住地である。

5. 地区略図



地区名	トメアス
移住形態	自営開拓農(トメアス一産業組合)
受入世話機関	事業団ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置 地形 地質, 土壌 植生, 林相 気候	第2トメアスに同じ
------	------------------------------------	-----------

社会条件	交通場 医療, 教育 その他	第2トメアスに同じ  植民地内に診療所があり, 日本人医師1名, 看護婦3名が診療に従事している。 小学校3校, 中学校1校が植民地内にある。 文化会館が41年1月落成し, 毎週金, 土曜日, 日本映画を上映している。 郡営施設として総工費50,000コントを投じて建造されていたトメアス港棧橋が41年1月完成した。
------	----------------------	---



2. 入 植 状 況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		29	77	71	6	6	6	6	30	31	8	1	1		272	416戸
総面積																
ロット面積																
土地条件																
支払条件																

註) 定着戸数は戦前移住者、雇用移住者の独立、分家、他移住地からの転耕者を含む

3. 営 農

主 作 物	第2トメアスに同じ
営農のすめ方	

4. 特記事項及び問題点

昭和4年南米拓植株式会社の子植民地として発足、戦前352家族の入植をみたが営農上の失敗やマラリアの発生等により退耕者多く、89家族が定着、戦後ビメンタの栽培に成功、飛躍的發展をとげた。現在5,000 tonを生産し、北米、ヨーロッパ、アルゼンチンに輸出している。当植民地の雇用移住者は昭和28年度より受け入れられたが、一時新旧移住者の相克が生じ退耕者を出した。現在は現地の営農並びに生活を学ぶ意味において、独立までの一期間雇用移住者として就労するものが多くなってきた。

5. 地 区 略 図

第2トメアス地区参照

地区名	アカラ
移住形態	自営開拓農(パラ州政府)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ベレン市より水路120kmの地点にあるアカラ町より西南方へ22kmの地点
	地形	第3紀層段丘地域で平坦な段丘面と段丘をきざむ谷からなる地帯である。
	地質、土壌	地質は、砂岩、頁岩、土壌はラテライト化土、PH4.2
	植生、林相	熱帯林で有用材アカブー、カスターニア等巨木が密生する。
	気候	年間平均気温25.6℃、関係湿度85.3% 年間降雨量3,077.5mm

社会条件	交通	ベレン市よりアカラ町まで小型船が往復している外、テコテコ(軽飛行機)の発着所がある。アカラ町から入植地まで州道が通じている。
	市場	アカラ町は人口5,000人程度のため、ベレン市を主な消費市場としている。
	医療、教育	入植地内に小学校が2校ある。アカラ町に診療所はあるが、医師は常駐していない。看護婦1名が駐在。
	貸与物件	トラック、トラクター、トレーラー、精米機、製材機

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数								3	20		2				25	26戸
総面積	州有地の払下げを個人で受け、州政府としては未だ植民地として事務所は設置されていない。(既入植者22家族は39年地権が交付された。)															
ロツテ面積	25Ha~100Ha															
土地価格																
支払条件																

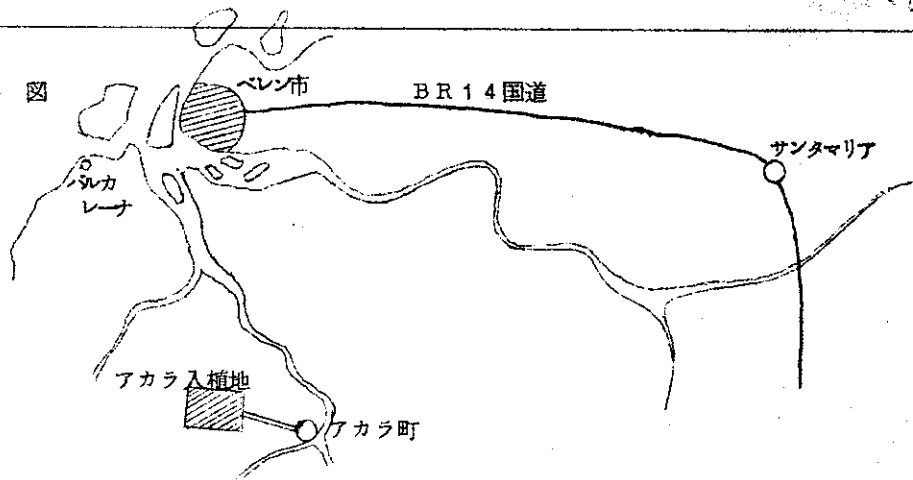
3. 営 農

主 作 物	永年作物ビメンタ、短期作物、米、マンジヨカ、蔬菜、
営 農 状 況	ビメンター本の営農形態から、永年作物としてクマルー、果樹類、短期作として大豆、養鶏を取り入れつつある。

4. 特記事項及び問題点

当入植地はアカラ郡の好意と積極的導入によつて州有地の無償払下げを受け、入植したもので、当支部管内では第2トメアスを除き唯一地権が交付されている。アカラ産業協同組合は任意組合であるため、販売面において不利な税金を徴収されるため、トメアス産組に吸収される方法が検討されている。

5. 地区略図



地区名	グアマ
移住形態	自営開拓農（連邦政府）
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ベレン市より南方グアマ河に沿い上流48km, 陸路75kmの地点
	地形	標高0~20mアマゾン河支流, グアマ河左岸の低湿な氾濫原であるが, 河との間に自然堤ができています。この奥は標高数米の高台。
	地質, 土壌	氾濫原の土壌はアマゾンバルセアの沖積土壌, 高台の方は洪積層のテラフィルメで砂質の土壌である。
	気候	最高気温31.8℃, 最低平均22.2℃, 湿度85~90%, 年平均降雨量2,186mm

社会条件	交通	タカジョース地区及びベルナンブコ地区へは陸路交通の便あり, 水路は定期的にベレン~グアマ間に船便がある。
	市場	アマゾン流域最大のベレン市を消費市場としている。野菜, 果実類を週1~2回ベレン市へ出荷する。
	医療, 教育	入植地内には小学校3, ベレン市には総合大学まである。入植地内に診療所はあるが, 看護婦のみにて医師は常駐していない。
	貸与物件	トラック, トラクター, 木造船

2. 入植状況

年 年	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数					31	97		1	1	1					131	46戸
総面積	33,510 Ha															
ロット面積	25 Ha															
土地価格																
支払条件																

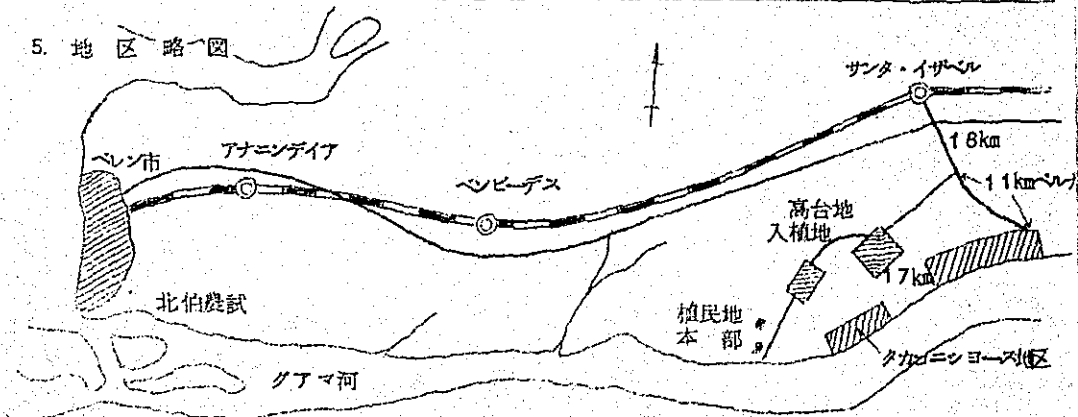
3. 営 農

主作物	永年作物ビメンタ, ゴム, カフェ, 短期作物, 米, 野菜
営農状況	本入植地は水稻栽培を計画したが伯国側がこのための工事を施工しなかつたため, 野菜栽培に切換え, 一部水稻, 高台ではビメンタ等永年作物の栽培を行っている。

4. 特記事項及び問題点

入植当初多数の退耕者を出したが甘藷の栽培に成功して以来ベレン市場を独占することとなった。カラバル地区は甘藷一本の営農であり, 農薬中継や, 低湿帯のため衛生上の問題がある, 蓄積した資金をビメタンに投資するよう指導している。

5. 地区略図



地区名	ロザリオ
移住形態	自営開拓農(マラニオン州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	サンルイス市より南方80 km S 2° 58' W 44° 1'
	地形	標高8 m 一般に起伏ゆるやか平坦に近い、一部高地がある。
	地質、土壌	土壌は沖積層からなる埴土(小石が多い)から微砂質のものである。
	植生、林相	一般にバブスー椰子の疎林であつて、バブスー椰子のない処は灌木類が自生している。
	気候	年間平均気温26.8℃、最高平均31.7℃、最低平均23.6℃、年間降雨量1,818mm、湿度80%、雨期11~4月、乾期5~10月

社会条件	交通	サンルイス市よりBR 22 国道につながる8 m巾の道路が入植地入口より8 kmの地点を通過している。 ロザリオ町より入植地までは1.5 km
	市場	ロザリオ町(人口6,000)及びサンルイス市が市場である。
	医療、教育	学童全員ロザリオ町に通学。 診療所はロザリオ町の施設を利用している。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数									19						19	13戸
総面積	600 Ha.															
ロット面積	30 Ha.															
土地価格																
支払条件																

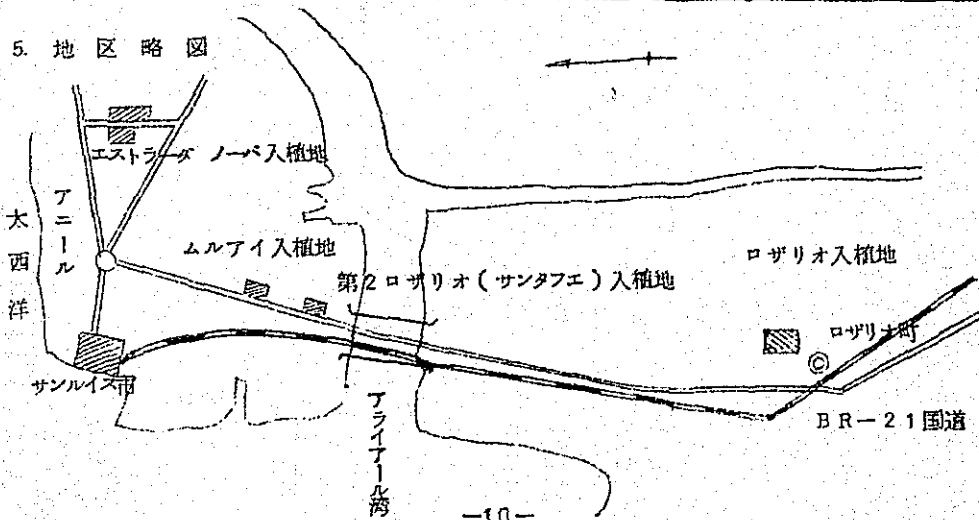
3. 営 農

主 作 物	永年作, ビメンタ, コーヒー, パナナ, 短期作米, マンジヨカ, 野菜
営農状況	野菜栽培による現金収入で生活を安定させ逐次永年作物, 主にビメンタを植付している。

4. 特記事項及び問題点

野菜(トマト)の連作による害に対する対策と, ビメンタ栽培の確立が当面の問題である。

5. 地区略図



地区名	ムルアイ
移住形態	自営開拓農(マラオン州政府)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	サンルイス市南方30km (S. 2° 31', W 44° 16')
	地形	標高4m, 東北面は緩斜面もあるが一般に地区内台地状の平坦地である。
	地質, 土壌	地質は第3紀層の砂岩, 黄岩よりなり礫混り砂土又は埴土, PH 4。
	植生, 林相	地区の20%は原始林で主として直径30cm程度のミリチー椰子の疎林であり, 80%は3~7年生の再生林である。
	気候	最高平均気温33.5℃, 最低平均気温21.5℃, 年平均26.5℃, 湿度平均80%, 年間降雨量1,818mm

社会条件	交通	サンルイス市よりBR 25国道に続く整備された道路が入植地内を貫通している。
	市場	マラニオン州首府サンルイス市が市場となる。
	医療, 教育	入植地内に小学校はない。全員サンルイス市に通学している。 医療もサンルイス市の施設を利用している。
	貸与物件	トラック, 発電機



## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	29	40	計	定着戸数
戸 数										10					10	11戸
総面積	110Ha															
ロッテ面積	10Ha															
土地価格																
支払条件																

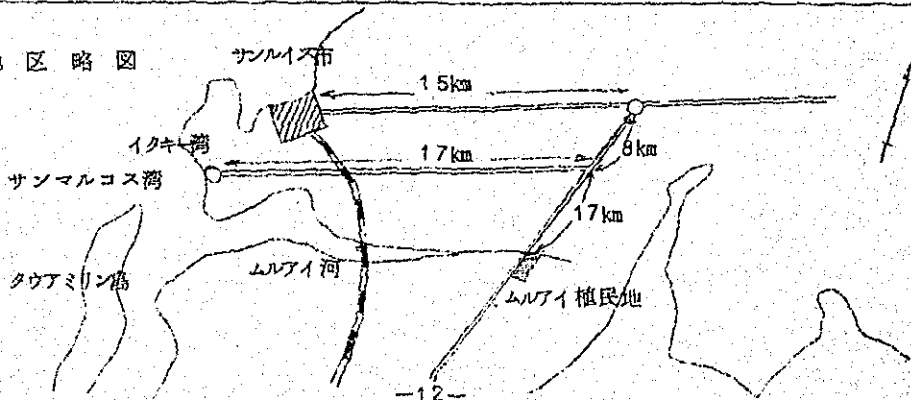
## 3. 営 農

主 作 物	蔬菜栽培に養鶏を加味した典型的都市近郊農業の経営形態である。
営農状況	養鶏は飼料の高値から放棄する家族が続出し、現在は5,000羽程度である。 トマト単作地帯と言つてもよい。

## 4. 特記事項及び問題点

<p>本入植地は立地条件もよく、現金収入が多い。</p> <p>現在は全家族トマトを栽培しているが、病気の発生、連作の問題とも関係し、今後の営農方針を確立する必要がある。</p> <p>養鶏についても、さく飼養鶏をバタリー方式に切替える方向に進んでいるが、研究の余地がある。</p>
---

## 5. 地区略図



地区名	マタビー
移住形態	自営開拓農(アマパー直轄州政府)
受入世話機関	事業団, ベレン支部

#### 1. 地区概要

自然 状態 条件	位置	マカパー市の北北東120km, (S0°1', W51°2')
	地形	花崗岩や片磨岩, その他の古期岩類の石礫からなる洪積世の石礫層の台地は極めて平坦, 谷の部分にのぞむ所は急傾斜である。
	地質, 土壌	土壌は砂礫質のラテライト化土, PH 4.2, テーラ・フィルム地である。
	植生, 林相	草地帯から森林地帯への転換期にある。
	気候	年平均気温25.5℃, 関係湿度80%, 年間降雨量3,000mm

社会 条件	交通	マカバより入植地までは草原で, 各都市との連絡は比較的管理されているが, 雨期には交通不能になる事が多い。マカバとセーラナヴィウ鉱山間230kmに1COMI鉄道があり, 本入植地はその中間である。
	市場 医療, 教育	消費市場マカバ町人口約25,000人 マカバ町には教育, 医療の諸設備が完備されている。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		29	21			1	1		3						50	7戸
総面積	4,875 Ha															
ロッテ面積																
土地価格																
支払条件																

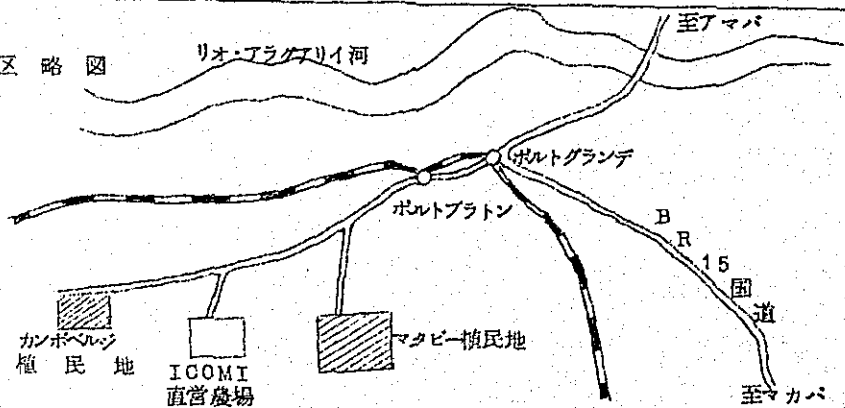
3. 営 農

主 作 物	永年作物, ゴム, ビメンタ, コーヒー, 短期作物, 米, マンジヨカ, 蔬菜
営 農 状 況	入植当初はゴムを主体としていたが, 近年 ICOMI 鉱山従業員の需要の増大により蔬菜栽培, 養鶏に移行しつつあり, 永年作物としてビメンタが主体となりつつある。

4. 特記事項及び問題点

入植当時ゴム植付を強制され, 資金的に行き詰まったためと, 人の和を欠き多数の退耕者を出したが, 残留している者は年々 ICOMI の需要増大により安定しつつある。ゴム樹が採液可能になつてきたので, 採算ベースにあつた採液体制を入植者同志で考えねばならなくなつてきた。

5. 地区略図



地区名	カンボベルジ
移住形態	自営開拓農(アマバ直轄州政府植民地)
受入世話機関	事業団 ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	マカバより130km (S 0°53', W 51° 51')
	地形	標高100m波状形で、概ね北から南へ傾斜している。
	地質, 土壌	花崗岩, 雲母片岩, 石灰岩を母岩とした砂質土壌又は埴質土壌。
	植生, 林相	闊葉樹の多い原生林で僅かに再生林がある。 直径50cm以下の樹木が多い。
	気候	年平均最高気温30.3℃, 最低平均22.8℃, 年間降雨量2,690.7mm

社会条件	交通	マカバ市まで、鉄道及び道路が通っている。 マカバ市よりベレン市までは、ほぼ毎日航空機の便あり。
	市場	マカバ市が消費市場であり、ICOMI関係の需要も伸びている。
	医療, 教育	最近入植者の手により入植地内に小学校が設立された。 医療はマカバ市の施設を利用している。二世の阿部医師(州立病院勤務)が事業団の要請に応じ巡回している。
	貸与物件	木造船, トラック, 精米機

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											6	1			7	5戸
総面積	300Ha															
ロッテ面積																
土地価格																
支払条件																

## 3. 営 農

主作物	永年作物ゴム、ビメンタ、短期作物米、マンジヨカ、蔬菜
営農状況	ICOMI 鉱山の食料、蔬菜の需要が多いため、当面は米、野菜栽培を主体としているが、将来に備えビメンタ、クマルー果樹類の栽培に移行する営農方針をとっている。

## 4. 特記事項及び問題点

当地は柑橘類に向いて居り、購買力のある ICOMI 鉱山従業員を目的として、イチジク、ラランジャ、ボンカン、晚柑油、西瓜等の増殖を計り、上用品を納入する様にしたら、数年を経ずして安定した植民地になろう。

又近くにアマバ産業開発会社 (COPRAN) が発足し 600Ha を甘 植付のため伐木し、将来は精糖工場も併設したい意向で、日本人入植者にも甘 栽培の協力を求めている。

## 5. 地区略図 マタビーの項参照

地区名	モンテアレグレ
移住形態	自営開拓農(連邦植民地)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	パラ州モンテアレグレ郡モンテアレグレ町より38km (S 2°W 54')
	地形	一般に起伏が多く、中に標高300mのイタジニリー山があり、2, 3の小流曲流し、丘陵地の間に平地がある。
	地質、土壌	地質は貝岩、石灰岩及び輝緑岩が母材となっており、地味良好 PH 6~6.5
	植生、林相	モンテアレグレ町付近は、第三紀層とデヴォン系との接触地帯に沿って半広葉から草地への漸移地帯がある。奥地に入るに従ってよく繁茂した森林が広がっている。
	気候	年間平均27.6℃、最高36.3℃、最低18.5℃ 年間降雨量2,032.3mm (1959年) 雨期1~5月 乾期7~12月

社会条件	交通	モンテアレグレ町はベレンへマナオス間商業用船及び航空機の寄港地になっている。 道路は入植地入口附近より悪路となり雨期は交通不能になることがある。
	市場	モンテアレグレ町は人口1万程度なのでサンタレーン市、マナオス市及びベレン市が主な消費市場となる。
	医療、教育	モンテアレグレ町にある病院を利用している。対岸のサンタレーン市には総合病院がある。 入植地には小学校2、モンテアレグレ町には州立小学校1及び教会立小学校2、中学校2校がある。学童数、小35、中16
	貸与物件	トラック、トラクター、精米機2

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		23	43	59			1								125	25
総面積	360,000 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格																
支払条件																

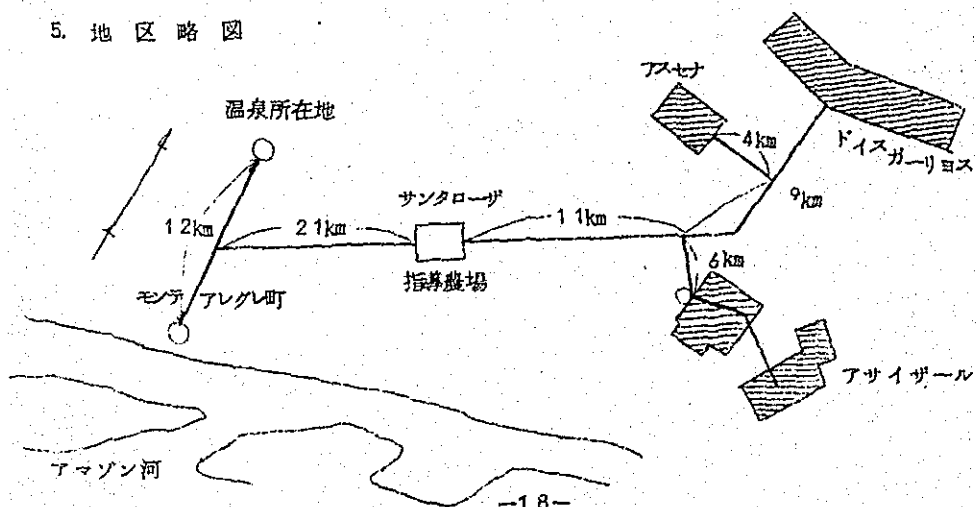
## 3. 営 農

主 作 物	永年作ビメンタ、カカオ、ゴム、短期作、米、トウモロコシ、フエジヨン
営農状況	雑作主体から永年作（ビメンタ）、畜産導入の方向に変わりつつある。 主な作物40年度収量 ビメンタ 44 ton 米 40 ton ミーヨ 64 ton 牛600頭、馬40頭

## 4. 特記事項及び問題点

町から入植地までの道路が非常に悪いこと。地権未交付である。

## 5. 地区略図



地区名	ベラピスタ
移住形態	自営開拓農(連邦植民地)
受入世話機関	事業団 ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	マナオス市より植民地本部まで約100km (B 3°08' W 60°0')
	地形	第3紀段丘地域で平坦な段丘面と段丘をきざむ谷, 比高12~20m
	地質, 土壌	傾斜急, 地質は第3紀層の砂岩, 貝岩段丘をきざむ谷底の沖積層 土壌はラテライト土, ラテライト土砂質, 崖端はテラ, プレータである。 pH 4.2, テラフィルム地帯である。
	植生, 林相 気候	直径1m以上の巨木が散在している。降雨林 年間平均気温31.4℃, 最高温37.8℃, 最低温12.6℃, 年間降雨量 2,100mm

社会条件	交通	植民地本部よりマナオスまで40哩(小型船で6時間), カカオベレイラ よりアリアウ地区までは8m市州道が通じており, 事業団貸与のトラック が往復している。
	市場	消費市場マナオス市人口20万, ボリビア, ペルー, コロンビア及びベネ ズエラ諸国への貿易が行われている。 主な取引物, 天然ゴム, ジュータ, 木材, 皮革, 植物性油脂, 鉱物資源 (石油)
	医療, 教育	移住者中INDAの依頼を受けて衛生業務を担当するもの1名。植民地本 部に診療所があるが, マナオスの診療所を利用している。 コロニア中央に小学校1, アリアウ2区に分校1, 生徒51名, 教師3名 中学(ベレン, マナオス, サンパウロ)在学14名 INDAがコロニア内に2校新築中



2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		24	102						2		14				140	47戸
総面積	1,500 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格																
支払条件																

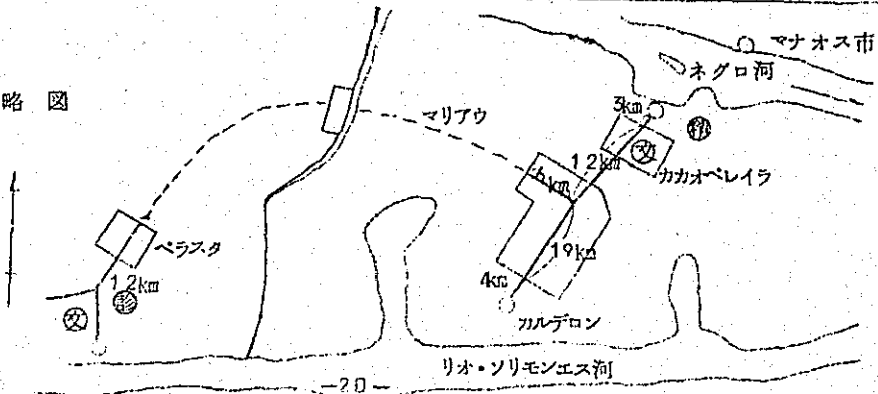
3. 営 農

主 作 物	永年作物ゴム, コーヒー, ヒメシタ, 果樹, ココヤシ, 短期作物米, 豆, マンジョカ, 野菜類
営農状況	従来グワラナ及びゴム栽培を行い, 未だ標準的営農類型の確立を見ていないが, 徐々にヒメシタ, 養鶏を基幹とした営農方向をとりつつある。ヒメシタ46,330本, グワラナ47,000本, ゴム53,500本, カフェ18,000本, 柑橘3,000本, 鶏4,000羽

4. 特記事項及び問題点

組合運営が遅れており, この指導育成が必要である。

5. 地区略図



地 区 名	エフゼニオサーレス
移 住 形 態	自営開拓農(アマゾナス州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自 然 条 件	位 置	マナオス市より42km (S 3°1' W 60°00')
	地 形	一般に起伏多く、中には急傾斜地もある。テラ・フィルム地である。
	地質、土壌	地質は第3紀層中にあり、黄色の粘土質、低地は砂質土壌
	植生、林相	カスタニャ樹その他、直径1m以上の巨本が処々に点在している。
	気 候	年間平均気温27.4℃、最高気温36.3℃、最低気温20.5℃ 年間降雨量1,940.4mm

社 会 条 件	交 通	植民地内には、マナオス、イタコチアラ道路が通っており、アスファルト舗装である。事業団貸与のトラックが往復している。
	市 場	消費市場、マナオス市人口20万、ボリビア、ペルー、コロンビア、ベネズエラ諸国への貿易が行われている。 主な取引物、天然ゴム、ジュウタ、木材、皮革、植物性油脂、鉱物質源、石油
	医療、教育	植民地内に診療所なく、マナオス市の州指定病院にて治療。事業団嘱託医が年1回巡回診療を行う。CEM採血員1名、州立小学校1.52キロ地点に分校1、邦人子弟57人、教師5人 中学(ベレン、マナオス、サンパウロ)在学数29名

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							17	6	16	16					55	59戸
総面積	575 Ha															
ロット面積	25 Ha															
土地価格																
支払条件																

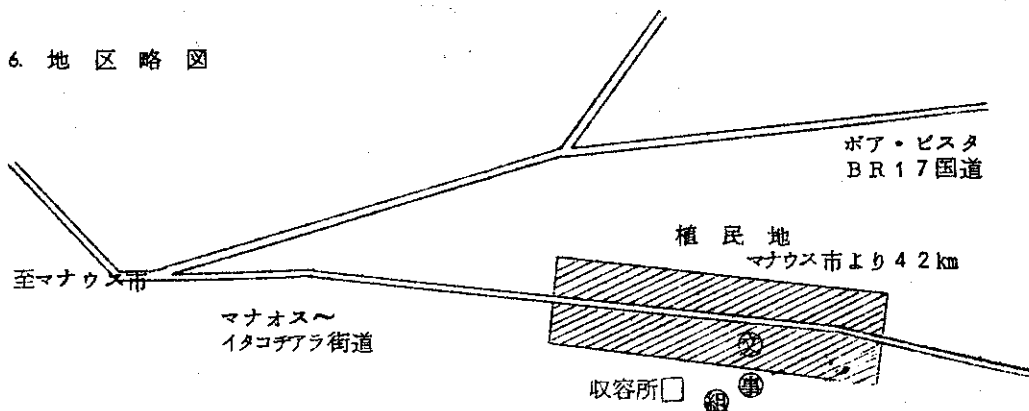
## 3. 営 農

主 作 物	永年作物, ゴム, ビメンタ, グワラナ, 果樹, 短期作物, 野菜, 米, マンジョカ
営 農 状 況	基幹作物はビメンタであり, 肥料の自給併せて, 現金収入も狙い, 養鶏を導入 又, 雨期における野菜栽培。  ビメンタ8800本, 鶏18000羽,

## 4. 特記事項及び問題点

三井物産のあつせんにより前年からビメンタを輸出することになった。  
アマゾン州でもこのことは注目しており, 州産業開発のため輸出税の減額等特典を与えている。

## 6. 地区略図



地区名	ダイヤモンド
移住形態	自営開拓農(ロライマ直轄州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ポアビスタ市より94km (N 3°05' W 60°40')
	地形	周囲は200~300mの山地, 比高数10mの残丘地
	地質, 土壌	塩基性岩及び花崗岩の風化した赤稜白化土(粘土質)で微量の鉄分を含むテラロシア地帯である。pH 6.8
	植生, 林相	鬱蔽度は中位, サヴァンナ地帯の森島に展開する地域であり樹種はフレイジョー, シユタイー, タワリ等, 胸高直径2m程度の大木で建築材, 家具材として重要されている。
	気候	年間平均気温27.7℃, 最低気温21℃, 最高気温33.7℃ 年間雨量2,462mm

社会条件	交通	ポアビスタ市より陸路94km, 橋が完成したため雨期も通交可能, ベレン~ポアビスタ間直通航空便あり, マナオス~ポアビスタ間道路建設中
	市場	消費市場, 州首府ポアビスタ市人口1万8千 グエネゼーラ, 英領ギアナとの辺境取引があり, ダイヤモンド(月産1,500カラット), 砂金, 畜産物, 食料品が取引された。
	医療, 教育	診療所はないが, 救急薬品は常備している。日本で保健婦の経験者がいる。 入植地中心部に小学校がある。教師は2名, 生徒数日系人12名, 現地人30名, ポアビスタ市には病院, 中学校, 師範学校, 発電所等がある。
	貸与物件	トラック, トラクター, 精米機

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数				11						9					20	90戸
総面積	2,000Ha															
ロンテ面積	30Ha															
土地価格																
支払条件																

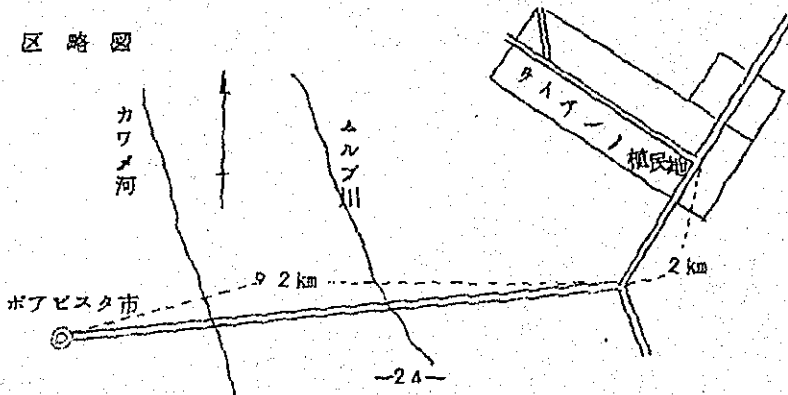
3. 営 農

主 作 物	永年作物ビメンタ, 短期作米, マンジョカ, トウモロコシ, 豆, 落花生
営農状況	米, マンジョカ, ミーリコ, 豆等を主体とする雑作農の形態である。市場に問題があるが, 比較的地味肥沃であり, 自給体制確立可能, 現状は低位安定の方向, 永年作としてビメンタ2,000本植付

4. 特記事項及び問題点

本入植地の根本的欠陥は市場の小さいことと乾期の長い事である。対策として共同牧場の勸奨とマナオス市への出荷研究を行つている。  
 国境地帯にあるため地権の交付が困難である。

5. 地区略図



地区名	トレゼ、デ、セテンプロ
移住形態	自営開拓農(ロンドニア直轄州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ポートベリーリヨ市より9km(8°W63°)
	地形	第3紀層段丘地域で平坦な段丘をきざむ谷, 比高12~20m, 急斜急である。
	地質, 土壌	地質は第3紀層の砂岩, 頁岩, 段丘をきざむ谷底の沖積層, 土壌はラテライト化土PH4.2, 砂質土, 崖端にテラ, プレータ, 黄色土等である。テラフィルム地帯。
	植生, 林相	熱帯性多雨林で30m程度の巨木の密生する原始林。
	気候	年間平均気温25.6℃, 最高温38.3℃, 最低温1.5℃ 年間雨量2,292.1mm

社会条件	交通	ポートベリーリヨ市より植民地入口まで9km, 邦人耕地まで11km, 事業団貸与トラック1台が市と植民地を往復している。道路は他の移住地に比して良好, BR29国道の開通。
	市場	消費市場, 州都ポートベリーリヨ市, 人口約2万, マナウス市(人口20万)までは航路約1500km, ゴム, カスタニアを集散し, アマソナス州マナオス市と取引がある。
	医療, 教育	コロニア内に医療施設なし, 病気はないが栄養分の摂取に改善の要あり。小学校1, 教師1, 生徒46, 中学(ポルトベリーリヨ)2名, 小学校中, 高学年生徒は組合トラックにてポルトベリーリヨ市内小学校へ通学。

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸
戸 数			29							2					31	23戸
総面積	1,750 Ha															
ロッテ面積	27 Ha															
土地価格																
支払条件																

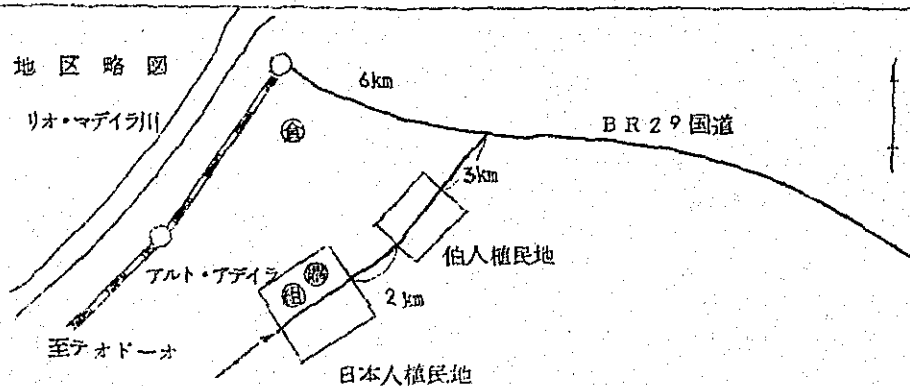
## 3. 営 農

主 作 物	永年作物ゴム, コーヒー, ピメンタ, 柑橘, パナナ, 短期作物米, 玉ネギ, 豆, マンジョカ, マカセラ, 野菜
営農状況	養鶏を主体, BR29国道開通により南伯方面の鶏卵と対抗しなければなら ない懸念もあるが, 今のところ心配はない。 ピメンタ2万本, 前年生産高15,000kg, 鶏8000羽, ゴム50,000本

## 4. 特記事項及び問題点

BR29国道活用による南伯方面への市場開拓が期待される。  
入植後10年を経過した入植地としては, 住居が貧弱であり, この点生活環境の面から指導している。

## 5. 地区略図



地区名	キナリー
移住形態	自営開拓農(アクレ直轄州政府植民地)
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	リオ・ブランコ市東方28km (S 9°, W 67°)
	地形	極めて平坦な波状地, 小川が教本地区内を通っている。
	地質, 土壌	地質は第3紀層, 黄色の埴土, 場所によりテラ・ロンシア地帯がある。 地味肥沃, 一般に酸性。
	植生, 林相 気候	年間平均気温 25.3℃, 特殊気象(アンデス山脈より吹下す寒風が乾期に時々訪れる。 年間平均雨量 1,679mm

社会条件	交通	本植民地より, リオブランコ市まで28km, 乾燥期の5月より12月までは比較的よいが, 1月たり4月までは雨期のため道路悪化, 交通困難である。
	市場	消費市場, アクレ州リオ・ブランコ市, 人口2万人で, 雨期は200t級船が来航するが, 乾期は減水のため小型船しか来航しない。
	医療, 教育	コロニア内に小学校開校せず, 未就学児童若干あり, リオ・ブランコ市内に寄宿せしめ通学させているもの2家族 中学在学者なし コロニアより6kmの地点に郡立診療所あり, 邦人看護婦常駐, 但しあまり利用していない。



2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数								13							13	5戸
総面積	1,500 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格																
支払条件																

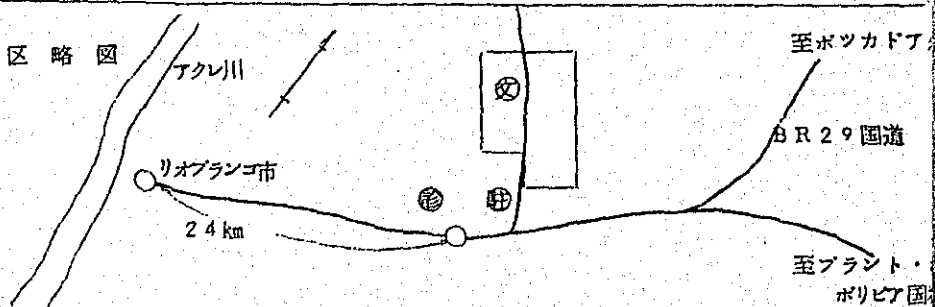
3. 営 農

主 作 物	ゴム, カフェ, カスタニア, ビメンタ, 果樹類, 米, ミーリオ, 豆, マンジョカ
営農状況	米, ミーリオ, マンジョカを主とした雑作, リオ・ブランコ市を市場とし, 生産, 販売とも順調, 低位の安定に向いつゝあるものと思われる。 ビメンタは試作中, ゴム14,000本, カフェ15,000本, 各戸平均3~4頭の役肉牛,

4. 特記事項及び問題点

農業経営の問題より経済環境としての生産物の市場関係及び交通輸送関係に問題がある。入植者間の和に欠けているため農協も解散したことは憂慮すべき事である。

5. 地区略図



地 区 名	エストラダノーバ
移 住 形 態	自営開拓農 マラニオン州政府植民地
受入世話機関	ベレン支部

### 1. 地 区 概 要

自 然 条 件	位 置	サンルイス市より2.8km S2°15' W44.8'
	地 形	入植地中央部に巾5~7m,長さ800m位いの低湿地がある。この湿地を中心として南北になだらかな傾斜をなしている。標高4m
	地質,土壌	総体に砂質であり表層は腐植質に富む
	植生,林相	再生林でパバサーが相当多数あり他は灌木程度
	気 候	平均26℃ 最高平均33℃ 最低平均21℃ 年間降雨量2,700mm 乾期7~12月 雨期1~6月

社 会 条 件	交 通	サンルイス市まで2.8km
	市 場	サンルイス市が消費市場となる
	医療,教育	学校,医療ともサンルイス市の施設を利用する。
	貸与物件	な し

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											8	2			10	10戸
総面積	180Ha															
ロッテ面積																
土地価格																
支払条件																

3. 営 農

主作物	永年作ビメンタ, コロヤシ, 果樹類, 短期作物稲, マンジヨカ, 野菜
営農状況	サンルイス市へ出荷する蔬菜を主として現金収入を得ている。

4. 特記事項及び問題点

本植民地はロザリオ及びピオ12世入植地より各4戸転耕した計8戸により, 37年に設立された。

マラニオン州各入植地共通の問題であるが, 永年作物をとり入れた営農形態の確立に未解決の問題がある。

5. 地 区 略 図

ロザリオ入植地参照

地区名	ピオ12世移任地
移住形態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	レシーフェ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 4°10' W 38°48'
	地形	標高30~40mの高台地, 緩傾斜地, 低地よりなる大きな波状地形。
	地質, 土壌	花崗岩系の母岩からなる植壤土又は砂質土。
	植生, 林相	既墾地550Haの他, 森林貯水池, 荒地が存在する。
気候	最高平均29.3℃, 最低平均24.3℃, 雨量年平均800~1000mm 乾期8~1月, 雨期2~7月	

社会条件	交通	本移住地はフォルクレーザ市よりパライバ市に至る鉄道の途中駅ガイウバ町西方8kmにある。 フォルタレイザ市(セアラ州の州都人口60万)が市場である。
	医療, 教育	地区内に小学校, 診療所はない。 ガイウバ町には医者が居り, フォルトレーザ市には総合病院がある。

2. 入植状況

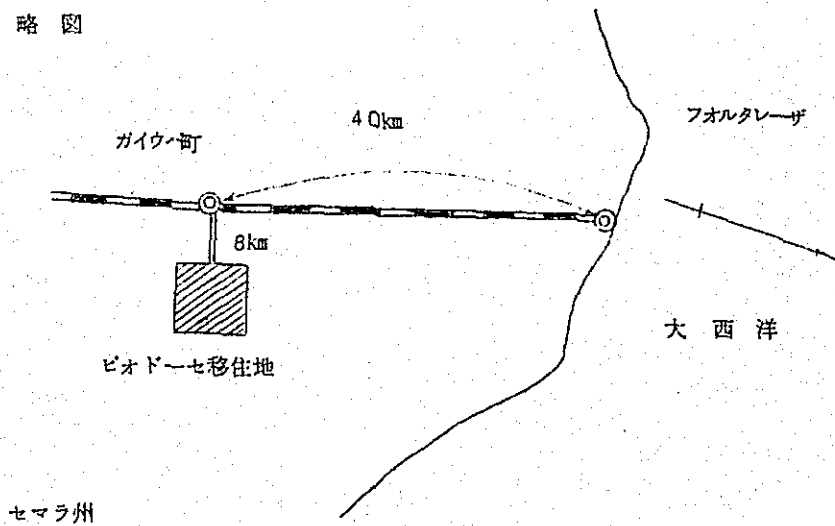
年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数								8							8	6
総面積	1.390Ha															
ロッテ面積	25Ha															
土地価格																
支払条件																

3. 営 農

主作物	永年作物 バナナ, ヤシ, マンジョカ, 木綿 短期作物 陸稲, 蔬菜, 果菜
営農状況	都市供給果樹, 蔬菜を中心とした営農を行っている。

4. 特記事項及び問題点

5. 地区略図



地区名	ブナウ
移住形態	自営開拓農(ピオ12世財団)
受入世話機関	レンシーフェ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位 置	S 5°30' , W 35°40' リオグランデ・ド・ノルテ州
	地 形	地区中央部低地は西から東にフォンセカ河が流れ、地区南北部は緩傾斜丘陵地となっている。
	地質、土壌	低地標高8m、高地20~30m
	植生、林相	低地は有機質の黒色沖積土で、高地は砂土である。pH5~5.5
気 候		低地は一般に草原でまばらに灌木が自棲し根も浅い。高地はココヤシ、マンガローバ、パアヤ等が自棲している。
		最高平均気温29.4℃、最低平均気温20.6℃、平均26.2℃ 年間降雨量1500mm

社会条件	交 通	セアラミリン市(人口5千)地区南方45km
	市 場	ナタール市(州都、人口16万)地区南方86km
	医療、教育	ナタール市、本地区の最大市場
		診療所は地区内にないが、セアラミリン市、ナタール市には病院がある。 小学校が地区内にある。

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数								9	4						13	3
総面積	1.365Ha															
ロッテ面積	12Ha 低地5Ha 高地5Ha															
土地価格																
支払条件																

## 3. 営 農

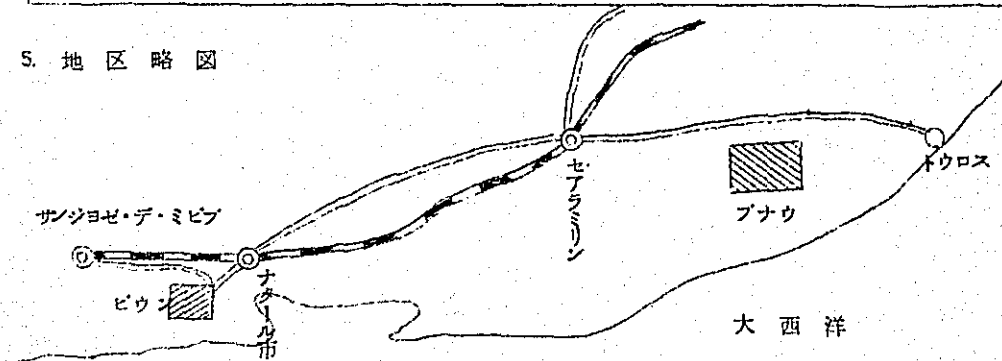
主 作 物	短期作物 蔬菜, 豆類, 米, 永年作物 パナナ, ココヤシ
営 農 状 況	低地を利用して主に蔬菜栽培を行っている。 転耕者の廃耕ロッテを利用し, 経営拡大を計り, パナナ, 畜産導入による経営を安定を今後の営農計画として考えている。

## 4. 特記事項及び問題

当入植地はビオ12世財団経営の入植地であり, 分譲されず永代借地権が与えられるのみである。

昭和38年, 39年, 脱耕問題で入植地内は困乱したが, 事業団の融資を基調とした対策により3家族が残留し, 6家族はレシーフェ市近郊に移り一応問題の解決をみた。

## 5. 地区略図



地区名	ビウン移住地
移住形態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	レシーフェ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 5°55' W 35°10'
	地形	標高20~50m 河岸の湿地帯とそれに連なる 緩傾斜高台地からなる。
	地質, 土壌	低地には蒲類, 高台上は疎林, 高台中腹はやゝ密な再生林となっている。
	気候	最高平均30.2℃, 最低平均18.9℃, 平均26.7℃ 雨量約1500mm 湿度71.5%

社会条件	交通	ナタール市(州都)地区北方30km 人口16万 パラナミン市 地区北西15km
	市場	ナタール市を対象とする。
	医療, 教育	地区内に小学校がある。病院はナタール市
	その他	地区内は共同井戸がある。住宅は高台に州政府の手によつて建設された。



## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数					9										9	10
総面積																
ロッテ面積	14Ha 家屋63㎡ 利用面積 50Ha															
土地価格	46,000クルセイロ															
支払条件	4年据置 4年年賦															

## 3. 営農状況

主 作 物	短期作物 蔬菜, 米, 永年作物 パナナ
営 農 状 況	低地帯においては米作, 高台地の中腹には蔬菜, メロン, パナナ等の栽培に利用されている。

## 4. 特記事項及び問題点

32年3月連部農務大臣は日本人入植者の努力に感激し、10Haの土地を寄贈した。排水施設の完備が急務であるが、40年1月から州政府が浚渫工事を開始した。低地は雨期になると水びたしとなる。水害のない年はナタール市を市場とする典型的な近郊農業として営農は順調にいつている。

## 5. 地区略図

ブナウ移住地参照

地区名	リオポニート移住地
移住形態	自営開拓農(州及び連邦政府)
受入世話機関	レシーフェ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 8°29' W 35°41'
	地形	標高600~800m全体として起伏の多い地形
	地質, 土壌	土質は砂質壤土(高所)であるが, 谷間には植質砂土ないし壤土が広がっている。
	植生, 林相 気 候	傾斜部は森林が多い, 森林資源は豊富である。 最高平均28℃, 最低平均18℃, 雨量780mm, 流水の量は降雨量に比し湧水の関係もあり豊富である。

社会条件	交通	レシーフェ市より西方へ完全舗装国道を100kmでベゼーホスに至り, さらに南下すること30kmでポニートに着き, ここより7kmで本移住地に着く。
	市場	レシーフェ市を対象とし野菜, 果樹の供給源とする。
	医療, 教育	ポニート市に小中学校がある。又病院, 診療所も完備している。地区内にも小学校がある。
	その他	地区中心に事務所, 倉庫, 製粉所があり地区内道路もよい。

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							5		9						14	16
総 面 積	1.380 Ha															
ロ ッ テ 面 積	25 Ha															
土 地 価 値																
支 払 条 件																

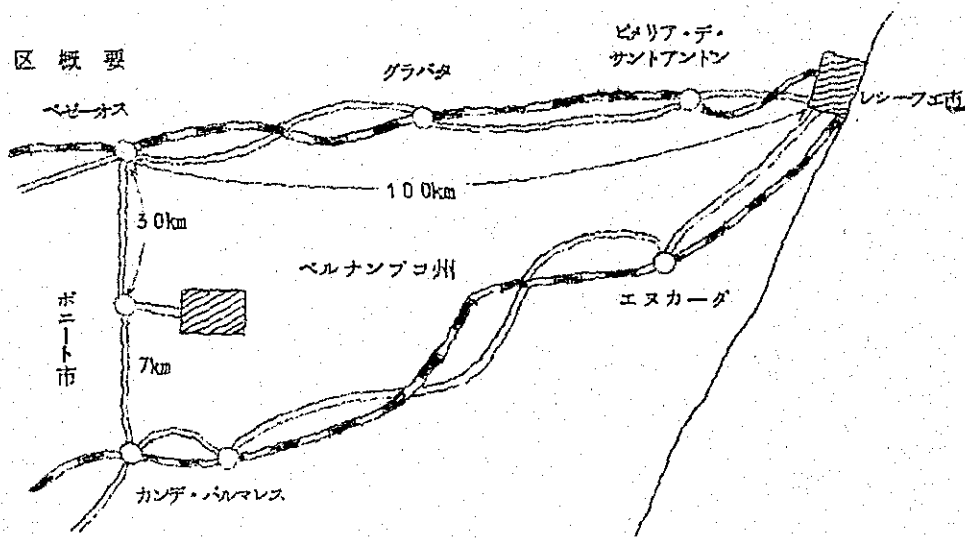
## 3. 営 農

主 作 物	マンジョカ, バナナ, マラクシャ, パイナップル, 野菜, 陸稻
営 農 状 況	蔬菜と果樹を組合せた営農が中心である。 若干養鶏を取り入れている農家もある。

## 4. 特記事項及び問題点

ポニード市より移住地までの道路があまりよくない。

## 5. 地区概要



地区名	ウナ植民地
移住形態	自営開拓農 連邦政府
受入世話機関	レンジャー支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 15° W 39°
	地形	標高50～100m地区内小河川あり、河川流域は低湿地を形成している。 河川を遠ざかるに従つて、稍急勾配をへて、高台地にいたる。
	地質、土壌	傾斜地、高台地は第3紀層の砂質又は壤質の土壌からなり、低地は有機質の多い土壌からなる。
	植生、林相	海岸森林地帯に属し、地区周辺は森林である。カカオ、その他高温湿下に生育する植物が繁茂している。
	気候	最高平均29.4℃、最低平均18.6℃、年間平均2,100mm

社会条件	交通	地区内小型飛行場がある。 地区よりウナ町までは10km、ウナ～イタブナ市120km ウナ～イリエウス150km、ウナ～サルパドール市640km
	市場	イタブナ市(イリエウ市)
	医療、教育	学校、診療所、薬局がある。
	その他	卒業部、教会、収容所、修理工場、発電所等がある。

## 2. 入植状況

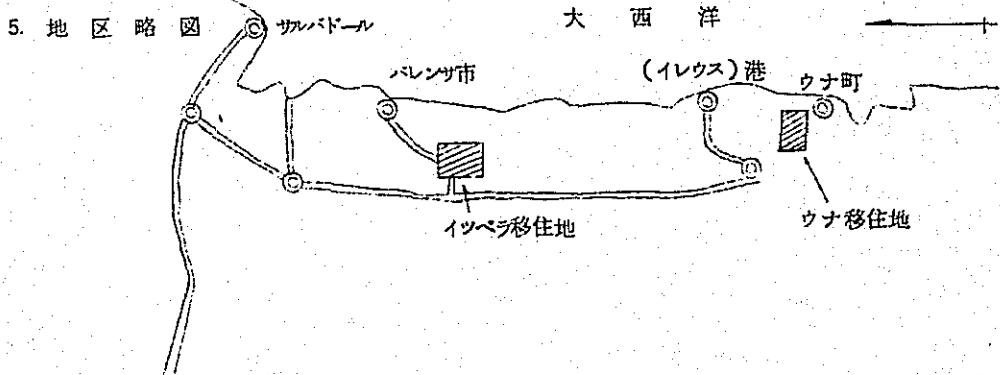
年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		25			11	1									36	20
総面積	5,494 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格	30~45 コントス															
支払条件	3年据置 10年年賦															

## 3. 営農状況

主作物	ゴム, カカオ
短期作物	米, トウモロコシ, 苺菜, フェジヨン
営農状況	ゴムを主体としそれに雑作を取り入れた営農を行っている。現在1家族平均3,000本のゴムを植付けている。

## 4. 特記事項及び問題点

入植者の大部分は既にゴムの採液可能であるが、現在ゴムの落葉病がまんえんし採液を抑制せざるを得ない状況である。ゴムの落葉病対策が今後の残された問題となっている。



地 区 名	イツベラ
移 住 形 態	自営開拓農(州政府)
受入世話機関	レシーフェ支部

1. 地区概要

自然条件	位 置	S 13°45', W 39°15'
	地 形	標高160~230m, 全体に起伏あり, 水流に恵まれている。
	地質, 土壌	赤道熱帯性ラテライト, 鉄分の含有が多く壤土をいし砂質壤土
	植生, 林相	原生林, 再生林あり, 林相は相当厚く, 有用材も含まれる。
気 候	最高平均27.8℃, 最低平均20.2℃, 年間雨量2100mm	

社会条件	交 通	イツベラ町(人口5千)まで10km, バレンサ(2万)まで52km, イツベラ町よりサルバドール市まで130km(海上)
	市 場	サルバドール市, イツベラ町, バレンサ市が市場となる。
	医療, 教育	イツベラ町に病院があり, 厚生省の出張所もあるバレンサ市にも入院可能 の病院あり, 地区内には小学校がある。
	そ の 他	地区内には電気が入り, 燈用, 動力用に使用されている。

## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数						6									6	8
総面積	5,000 Ha															
ロッテ面積	20 Ha															
土地価格	100,000 クルゼイロ															
土地条件	2年据置															

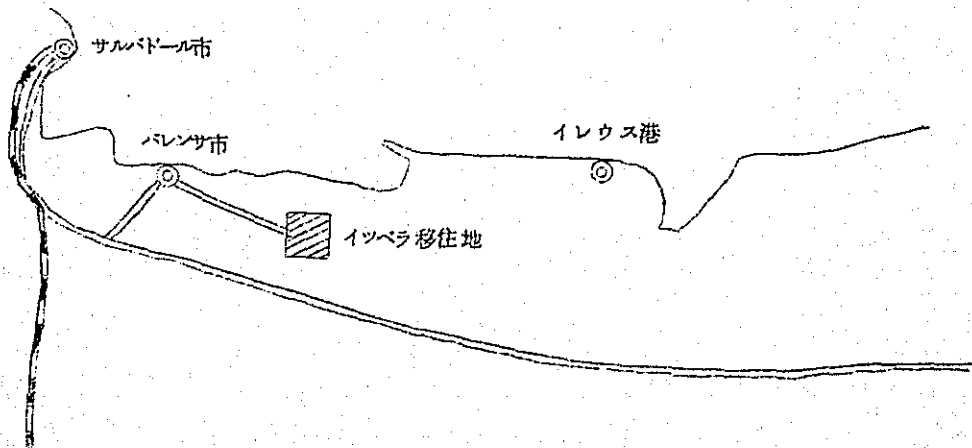
## 3. 営 農

主作物	短期作マンジヨカ、トコト、ピーマン、キャベツ 永年作ゴム、油椰子、丁字、ラランジャ
営農	早期安定を考慮してなるべく早く永年作物を植付ける必要がある。

## 4. 特記事項及び問題点

主産物の販路としての市場が狭少である。

## 5. 地区略図



地 区 名	クビチエツク
移 住 形 態	自営開拓農(州政府)
受入世話機関	レシーフェ支部

### 1. 地 区 概 要

自 然 条 件	位 置	S 12°40', W 38°30'
	地 形	標高は最も高い所で100m, 全体にある程度起伏のある丘陵地。
	地質, 土壌	全般に砂質壤土でマサツベ(水成岩の風化土壌でテラロシアに次いで肥沃であり, 腐殖にも富んでいる)の処が相当ある。
	植生, 林相	林相は厚く, 再生雑木林。
	気 候	最高平均28.3℃, 最低平均22.2℃, 降雨量1,800mm

社 会 条 件	交 通	マタ・デ・サンジョアン市まで6km サルバドール～マタ・デ・サンジョアン間は鉄道連絡あり, サルバドール市(バイア州州都人口70万)移住地より約80km。
	市 場	サルバドール市が主な市場である。
	医療, 教育	地区内に診療所兼病院, 小学校がある。



## 2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数							5	49	25	30	5 (トミカ)				114	86戸
総面積	2,600Ha															
ロッテ面積	イタビシリカ地区25Ha, サンベトロ地区20Ha															
土地価格	150~200コントス,															
支払条件	2年据置, 10年年賦															

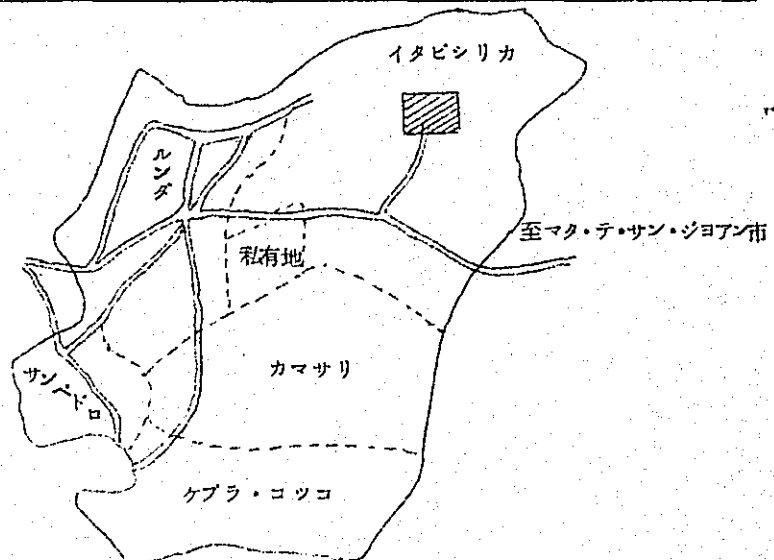
## 3. 営 農

主 作 物	短期作物, 蔬菜, 米, 永年作物, 柑橘, カカオ, タバコ, パイナップル
営 農 状 況	早期安定を計るため永年作物を早期に植栽することが近道であり, その収獲までの同短期作物に併せて家畜を入れる事が望ましい。

## 4. 特記事項及び問題点

ドミニカよりの転住者も含めて, 比較的営農成績がよく安定している。

## 5. 地区略図



## 南 伯

地 区 名	フンチャール移住地
移 住 形 態	自営開拓農(専業団)
受入世話機関	リオ・デ・ジャネイロ支部

### 1. 地 区 概 要

自 然 条 件	位 置	リオ・デ・ジャネイロ州 カシヨエイラ郡ジャグイバ
	地 形	標高低地30m, 丘地80~90m 地区の西北及び東北境界線にやや高い峰がある以外は約50~60mの小丘が全域に散在し, その間を小川が流れ, 低地を形成している。
	地質, 土壌	丘地は花崗岩系を母岩とする壤土ないし砂壤土, 低地は沖積性で壤土, 砂壤土
	植生, 林相	地区内大部分は再生林でわずかに高地峰の部分原始林を残し低地には湿地性草木の草地がある。
	気 候	最高平均28.3℃, 最低18.0℃, 降雨量1,200mm

社 会 条 件	交 通	カシヨエラ・デ・マカク市までは11km(リオ・デ・ジャネイロまで約110km)
	市 場	大消費都市リオ・デ・ジャネイロを対象としており, 立地条件は良好であるので販売に支障を来すおそれはない。
	医療, 教育	地区内に小学校があり, カシヨエラ市には中学校がある。カシヨエラ市には病院があり, 医療施設は完備し, 手術も可能。
	そ の 他	冷蔵庫(石油発動), プロパンコンロは一般化しつつある。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数										48	3	0	0	0	51	48
総 面 積	1,015 Ha															
ロッテ面積	平均11.1 Ha															
土地条件	一括払805,000 (標準価格) 分割払1,239,000円															
支払条件	分割払の場合 頭金80,000円 10年据置, 3年年賦払 賦金額 386,400円															

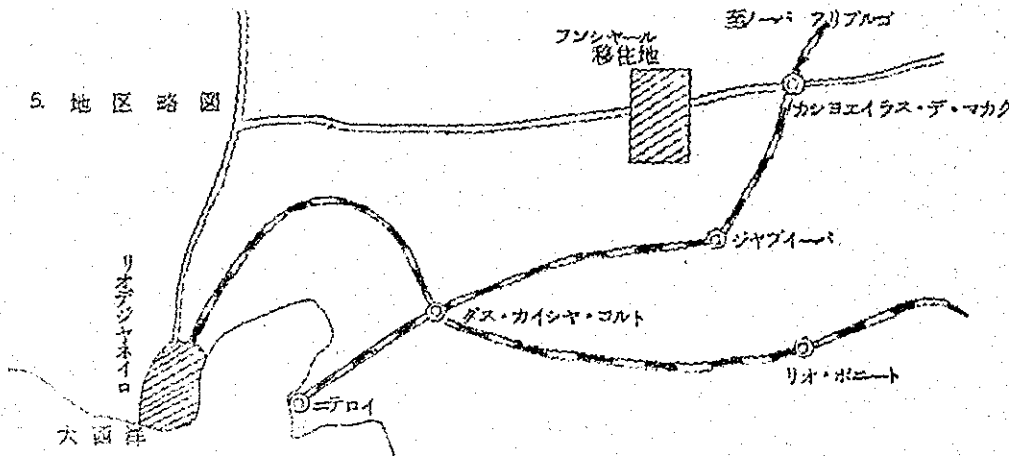
3. 営 農

主 作 物	蔬菜, 養鶏, パイナップル, コバヤ, 柑橘類
営農のすめ方	入植初期の段階で伏開, 家屋, 鶏舎を建築し, ひなを導入しながら農作物の植栽を実施し, 漸次多角経営に移行する。

4. 特記事項及び問題点

入植あつせん中, 残ロッテは既入植者の増反があるので10ロッテ以内, 39年度道路補修, 排水路工事が実施され, 更に40年度において道路補修が続行暗渠が補強された。  
パイナップルの栽培が本格化し, コバヤは試作の域を脱し, 好成績である。

5. 地区略図



地区名	ジャカレー移住地
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ジャカレー市の西北8 km
	地形	地区の北面東南側に40~130 mの丘陵がある。中央部は低地でパラティ河が流れている。
	地質, 土壌 植生, 林相	丘陵地は花崗岩系の砂壤土, 壤土が主であるが低地は沖積性の積壤土。 丘陵地は主として草原, 再生林で放牧地として利用されており, 低地は水田である。
	気候	年平均気温18℃, 最高33.1℃, 最低15℃年間雨量1150 mm

社会条件	交通	サンパウロ市まで67 km, トラックで2時間弱である。
	市場	サンパウロ市
	医療, 教育	ジャカレー市には病院, 中学校の教育施設がある。
	その他	ジャカレー市にコチア産組の出張所, 倉庫がある。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数									3	26	3			1	36	35
総 面 積	613 Ha															
ロッテ面積	6.5 Ha															
土地条件	一括払860,000円(標準価格)分割払1,330,160円(標準価格)															
支払条件	分割払の場合頭金86,000円, 10年据置3年年賦 賦金額414,720円(標準)															

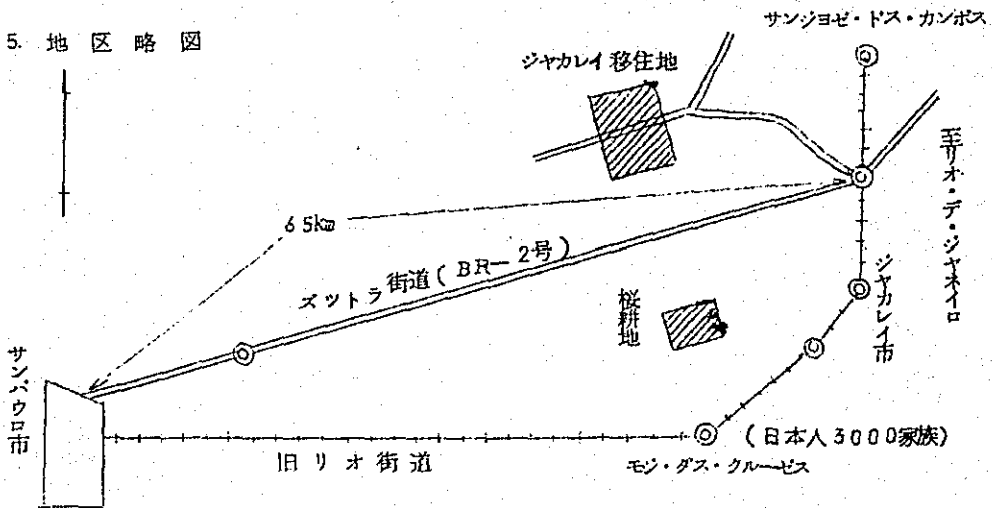
3. 営 農

主 作 物	米作, 蔬菜, 果樹, 養鶏
営農のすすめ方	当初落下生, 陸稲, 野菜等を栽培し, 一方永年作物を早急に植付, 養鶏を取り入れて, 経営の安定拡大を図る。

4. 特記事項及び問題点

現在入植あつせん中

5. 地区略図



地区名	極耕地
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 23°20' W 46°05'
	地域	標高600~650m緩い起伏をなす丘陵で小川、谷川、湧水等豊富である。
	地質、土壌	壤土
	植生、林相	再生林を含む草原地帯
	気候	夏期、晴天日中38℃、夜間10℃、降雨量1,500mm 冬期、" 20℃、" 2℃

社会条件	交通	グワラレーマ市へ6km、ジャカレイ市へ12km モジダス、クルーゼス市へ30km、各市へのバスの便がある。 サンパウロ市へは57km
	市場	サンパウロ市
	医療、教育	小学校が地区内にある。中学校はグワラレーマ市に通学。グワラレーマ市には州立病院がある。

2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数											7	9			16 (38)	54
総 面 積	200Ha															
ロッテ面積	5Ha															
土地条件	A級ロッテ一括払, 52万円 分割払 頭金31万2千円 B級ロッテ " 48万円 " " 28万8千円															
支払条件	分割払の場合残額を1年以内に支払う。															

2. 営 業

主 作 物	短期作物 トマト, 玉黍, ササゲ, チンヤ, 永年作物 柑橘
営 業 の 方 向	都市近郊の恵まれた立地条件を生かして, 生鮮食料品の生産販売を主とする。 養鶏を並行せしめて経営の安定を図ることが望ましい。

4. 当耕地は足立小平治氏が独立で35年2月開設を意図したのに始まる。

5. 地 区 略 図

ジャカレー移住地略図参照

地 区 名	グアタバラ移住地
移 住 形 態	自営開拓農（専業団）
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自 然 条 件	位 置	サンパウロ市の北西部26.5km
	地 形	地区の57%は大波状形丘地43%はモシグアス河の低地である。標高500~570m
	地質、土壌	丘地は輝緑岩と砂岩の風化土壌よりなるテラロシヤミストラダで赤色を呈する。 低地は黒色の沖積土で腐植に富む、土層は深い。
	植生、林相	丘地の一部は小灌木林又は雑木林または放牧地で牧草が生育している。 低地はモシグアス河に沿って原始林が帯状に密生している。
	気 候	年平均21.8℃、最高月の平均23.6℃、最低月の平均18.4℃ 年降雨量950mm

社 会 条 件	交 通	サンパウロ市へは地区近傍のグアタバラ駅より鉄道で7時間、自動車では5時間を要する。リベロンブレット市は45kmの距離にある。
	市 場	リベロンブレット市、サンパウロ市を対象とする。
	医療、教育	学校、診療所、倉庫等が完備されている。 リベロンブレット市には大学、総合病院がある。
	そ の 他	コチア産組の出張所がある。



## 2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数										27	42	38	24	2	133	131
総面積	7,300 Ha															
ロッテ面積	1,25 Ha															
土地条件	水利施設共有権, 持分とも一括払い価格 1,500,000円, 分割払価格 2,341,152円															
支払条件	分割払の場合 頭金 1,500,000円, 10年据置4年年賦賦金額 5,417,888円															

## 3. 営 業

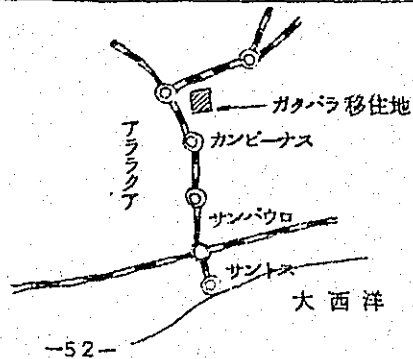
主作物	米作, 馬鈴薯, 蔬菜, 永年作物は柑橘, 養鶏, 養蚕
営業状況	基幹作物として計画された米作が後退きみで, 蔬菜, 養鶏, が増えつつある。ユニークなものとして養蚕を行つている農家もある。永年作物として柑橘, バイナップルの植付を行つている。

## 4. 特記事項及び問題点

これまで全拓連, コチア産組, 事業団の協力の下に運営していたが, 41年度より事業団が一元的に事業を遂行することになった。

従つて従来の7県募集は廃止し, 全国公募により現在募集中である。

## 5. 地区略図



地区名	ビニヤール移住地
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	サンパウロ市より南方150kmのビラール・ド・スール市近く。
	地形	標高700m前後、全体的に大きな波状をなしており傾斜6~7°
自然条件	植生、林相	地区の2/5は再生林、1/5は灌木林、2/5は畑地及び放牧地となっている。
	気候	年平均気温18.5℃、サンパウロ州としてはかなり冷涼な地帯に属する。 年降雨量1,200~1,300mm

社会条件	交通	1日4回サンパウロ市行きのバスが運行しており、5時間で到着する。
	市場	ビラールドスール市まで16km、サンミケル、アルカンジヨ市へは18km 主な市場はサンパウロ市である。
	医療、教育	地区内に小学校があり、中学校はビラール・ド・スール及びサンミケル アルカンジヨ市にある。 病院はビラール・ド・スール市に2つある。

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数											3	25	10	12	50	47
総面積	760Ha															
ロッテ面積	12Ha															
土地条件	一括払650,000円 分割払1,002,000円															
支払条件	分割払 頭金65,000円, 10年据置3年年賦 賦金額312,000円															

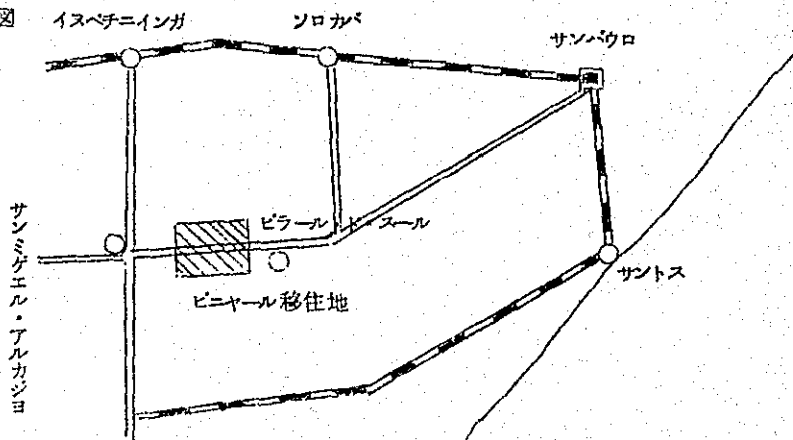
3. 営農計画

主作物	短期作 馬鈴薯, 甘藷, トウモロコシ, 永年作物 桃, 柿, ブドウ
営農のすすめ方	都市近郊農地として, トマト, ビーマン等の蔬菜栽培, ブドウ, 桃, 柿等の果樹栽培, 或はこれらに養鶏を組合わせた有奈果樹園芸の経営を行う。

4. 特記事項及び問題点

現地入植は扱っているが, 内地からの送付は打切っている。

5. 地区略図



地区名	クルバイ移住地
移住形態	自営開拓農(和歌山不動産)
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ドラーダス東南140km
	地城	標高400m、高差50m 中央部が高く幾分かの起伏を経て谷に向つて落込んでいる。
	地質、土質	ラーラミスタに近い。
	植生、林相	未墾地は、大部分が灌木林である。
	気候	年間雨量1400mm、雨期最低22° 乾期最低8°

社会条件	交通	ドラーダス市に至る170kmの交通機関はトラックである。
	市場	ドラーダス市
	医療、教育	移住地内に診療所及び小学校がある。

2. 入植状況

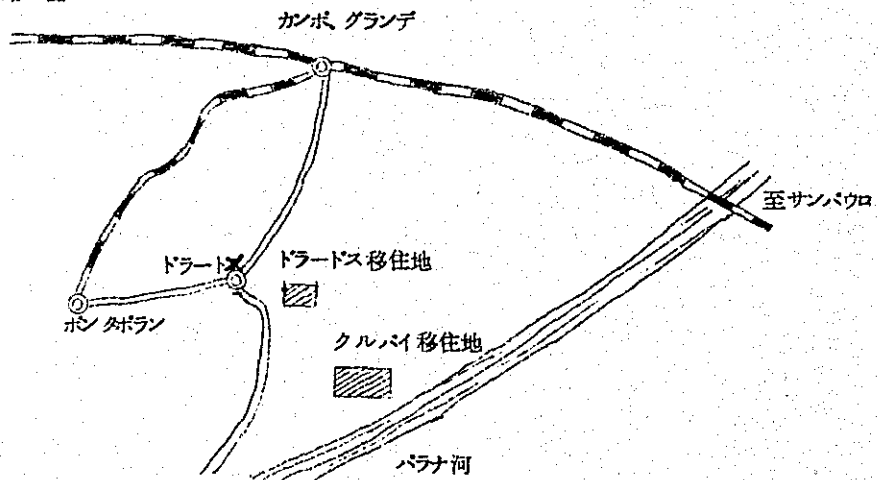
年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数															57	12
総面積	4,269 Ha															
ロツテ面積	24 Ha															
土地条件	80,000 Cr															
支払条件																

3. 営農計画

主作物	コーヒー、棉、雑作
営農の状況	コーヒーは霜害にあい現在棉を主体とし、それに雑作を組み入れた営農を行う。

4. 特記事項及び問題点

5. 地区略図



地区名	オウリーニヨス移住地
移住形態	自営開拓農（現地組合）
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	サンパウロ州オウリーニヨス市南方7km
	地形	標高460～470 緩傾斜の波状地で高台、緩傾斜地台地よりなる。
	地質、土壌	デーラロシアに微細砂の混じつたものであり、やや粘着力にとほしいが、保水力はすぐれており、きわめて肥沃である。
	植生、林相	移住地の一部に原始林地帯を残しているが、大半は耕されコーヒー、雑作甘藷、牧場として利用
	気候	年平均26℃、最高34℃、最低12℃、年間雨量1,200～1,500mm

社会条件	交通	サンパウロ市へはオウリーニヨス市から汽車、バス飛行機が定期的に運行している。
	市場	オウリーニヨス市（人口5万）サンパウロ市
	医療、教育	オウリーニヨス市には教育、医療設備が完備している。
	その他	地区内の各戸は電気、水道施設完備している。

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数										16		1			17	23
総面積	23875Ha															
ロッテ面積	10Ha															
土地条件	一括払652,000クルセイロ															
支払条件	一括払のみ															

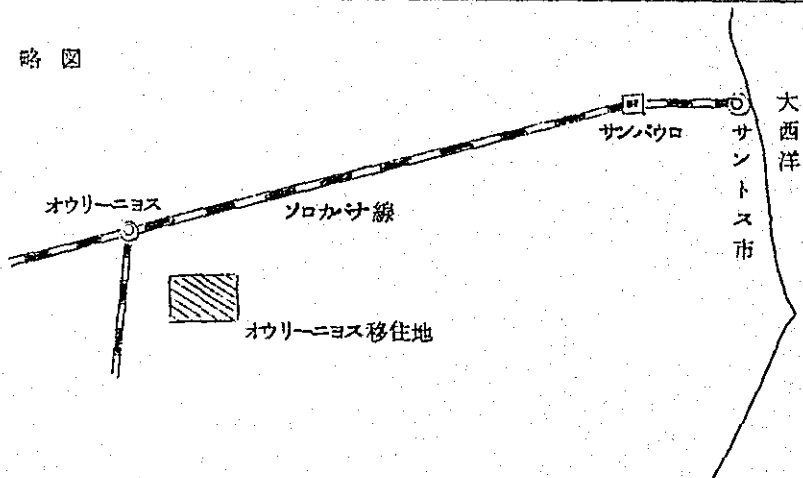
3. 営農状況

主作物	永年作コーヒー、ボンカン、短期作 棉、トウモロコシ、落下生、 フェジヨン、米、蔬菜、養鶏、養豚
営農状況	コーヒー、棉、フェジヨン、落下生、栽培により着実に収益をあげ、組合の当初計画コーヒー、果樹、それに養鶏の線に沿って努力している。

4. 特記事項

現地組合の創設した移住地に日本より移住者を導入した移住地である。

5. 地区略図



地 区 名	ドロードス移住地
移 住 形 態	自営開拓農(連邦政府)
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地 区 概 要

自 然 条 件	位 置	S 22°22' W 54°25'
	地 形	地形はゆるやかな波状を呈し、起伏は40mを超えることはない。
	地質、土壌	テラロシヤ地帯に属し、地味は肥沃であるが、地形により砂質壤土が点在する。
	植生、林相 気 候	森林はよく繁茂し、巨木の密生している良好な林相である。 雨期最低気温22℃、乾期最低6~7℃ 年間雨量1,329mm

社 会 条 件	交 通	ドロードス市まで70km、カンボグランデ市より約110km
	市 場	カンボグランデ市
	医療、教育	薬局1、病院1、小学校8が地区内にある。
	そ の 他	植民事務所、製材所、鉄工所、発電所等がある。



2. 入植状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数		74	13		4	3									94	54
総 面 積	300,000Ha															
ロッテ面積	30Ha															
土地条件	無 償															
支払条件																

3. 営農状況

主 作 物	永年作物 コーヒー 短期作物 トウモロコシ、フエジョン、大豆、 陸稻
営 農 状 況	コーヒー栽培を主体とし、それに雑作を組み入れた営農を行っている。

4. 特記事項及び問題点

教育及び道路について改善すべき点が残っている。

5. 地区略図

クルバイ移住地を参照

地区名	バルゼアアレグレ移住地
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンパウロ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	マツト・グロツソ州、カンボグランデ市西方45km S20° W55°
	地形	北側は平坦地、南側はゆるやかな丘陵地である。
	地質、土壌	土質は砂壤土、砂質土、若干テラロンア地帯がある。
	植生、林相	奥地草原地帯に属し、ところどころに原始林地帯、再生林地帯がある。
	気候	平均気温23.6℃、最高平均30.9℃、最低平均18.1℃ 年間雨量1,537.7mm、雨期10～3月、乾期4～9月

社会条件	交通	ノロエステ線鉄道が移住地の中央を東西に走りサンパウロ市(1,296km)には32時間、カンボ・グランデ市には自動車にて1時間の行程である。
	市場	南マツト、グロツソにおける農産物の集散地であるカンボ、グランデ市(人口8万)が市場である。
	医療、教育	地区内に診療所1、小学校1。

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数							9	13	28	1	0	0	0	0	51	34
総面積	36,363 Ha															
ロッテ面積	25 Ha															
土地条件	一括払 650,000円(標準価格)															
支払条件																

3. 営農計画

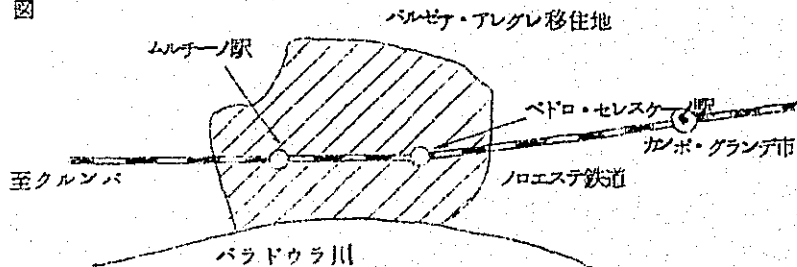
主作物	陸稲, パナナ, とりもろこし, フェジヨン, 蔬菜, 養鶏
営農状況	<p>養鶏を中心に蔬菜, 雑作を組合せた営農を行っている。現在1戸平均養鶏数1,000羽であるが, カンボグランデ市場の需要状況からみて2,000羽を目標に増羽を行っている。</p> <p>将来の安定の基盤である牧場について現地組合でモデルケースを造るべく検討中である。</p>

4. 特記事項及び問題点

入植後2~3年退耕者が続出したが, 現在養鶏ブームに乗って立ちをおつている。未利用地の処置について検討中である。

現在内地からの送付は見合している。

5. 地区略図



地区名	ラーモス
移住形態	自営開拓農(サンクカタリーナ州農地改革院)
受入世話機関	ポルトアレグレ支部

#### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 22°30' W 52°
	地形	標高1,000内外の丘陵地帯、傾斜5~7° 地区内には所々に自然の湧水がある。
	地質、土壌	玄武岩を母岩とした土壌で、礫土、植壊土、砂礫土に分けられる。 pH 5.0 ~ 5.8
	植生、林相	大部分は再生林で一部は以前に農地として利用されたあとがあるが、概ね灌木、雑草等が繁茂している。
	気候	年平均気温15.7℃、平均最高24.5℃、平均最低9.1℃ 年間雨量1,340mm、平均相対湿度82%、6月には零下6~8°に下る日がある。

社会条件	交通	移住地よりクリチバーノス23km、クリチバーノスよりラーージェス84km サンパウロまで740km、ポルトアレグレまで450km
	市場	クリチバーノス町 ラーージェス市(人口3万、農産物の集産地) ウイデイラ町(精粉工場、果実酒工場)
	医療、教育	クリチバーノス町に総合病院、その他医院薬局がある。地区内に小学校がある外、クリチバーノス町には小、中学校、師範学校がある。

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数													8	3	11	11戸
総面積																
ロッテ面積	平均 2.5 Ha															
土地価格	平均 1,997,106 グルゼイロ															
支払条件	分譲はサンタカタリーナ州農地改革院 (IRASCO) と入植者との間に現地通貨建により契約し、3年据置10年間無利子均等年賦払で、IRASCO に払込み、土地代完済後地権が交付される。															

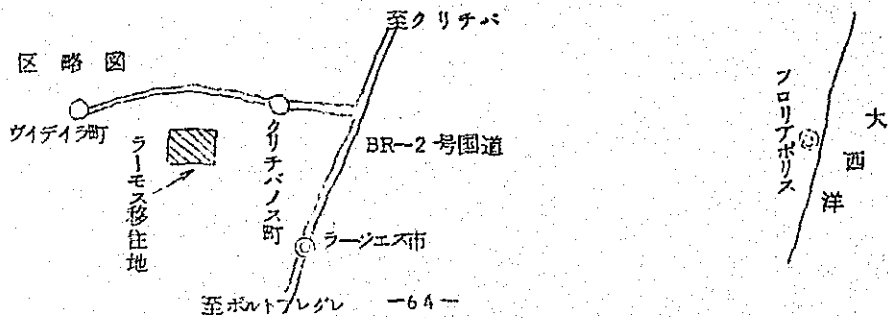
3. 営 農

主作物	短期作 トウモロコシ、陸稲、小麦、馬鈴薯、蔬菜、果樹、李、桃、リンゴ、梨、ブドウ
営農のすめ方	当初の蔬菜、雑作栽培を主体とした経営を伯国唯一の温帯地帯である気候条件を生かして逐次桃、ブドウ等の温帯果樹を主体とした営農形態に移行する。

4. 特記事項及び問題点

本年1月にIRASCOの移住地登録が許可されたので、移住者の導入枠が決定されしだい内地よりの送出が可能となる。  
上記11戸はリオ・グランデ・ド・スール州内の在住邦人が現地入植したものである。

5. 地区略図



## アルゼンチン国

地区名	ガルアペー
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	ブエノスアイレス支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 26°50' . W 54°50'
	地形	標高250~300mアルトパラナ河畔にあり、河に向つてゆるく傾斜している波状陵地。
	地質、土壌	母岩は玄武岩、土壌はその風化土層たるテラロソで地味良、一部砂質地あり。
	植生、林相	原生林、有用材木殆んどなし、入植者用建材あり。
	気候	雨期、乾期の別は判然としな。年雨量4,500mm、最高平均気温37℃最低平均気温-4℃。
社会条件	交通	国道12号沿いに170kmで州都ボサーダス市(人口8万余)、又120kmでオペラ市(人口2万余)がある。国道12号はイグアスへの観光道路で、地区の接する処にはバスストップがある。ボサーダス市はブエノスからの鉄道と船の利用もできる。
	市場	ボサーダス市、パラナ河を隔ててエンウルナシオン市に対するミシオネス州の州都。鉄道でブエノスより34時間、本地区の中間市場、主な市場はブエノス市である。ブエトリコ町(人口約3,000人)地区南方国道12号線上にあり、附近の物資の集散地。
	医療、教育	診療所は地区南端国道12号線の所にあり入院の為にはボサーダス市に行く必要あり。小学校は州立58小学校が入植地事業所近くに、州立86小学校が地区中央部にあり、中学校はブエトリコ町にある。
	その他	警察官駐在所と仮収容所あり。

## 2. 入植状況

年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数							6	20	4	14	22	12	7	2	87	84戸
総面積	約3,000Ha															
ロッテ面積	1ロッテ平均30Ha															
土地価格	満植															
支払条件	"															

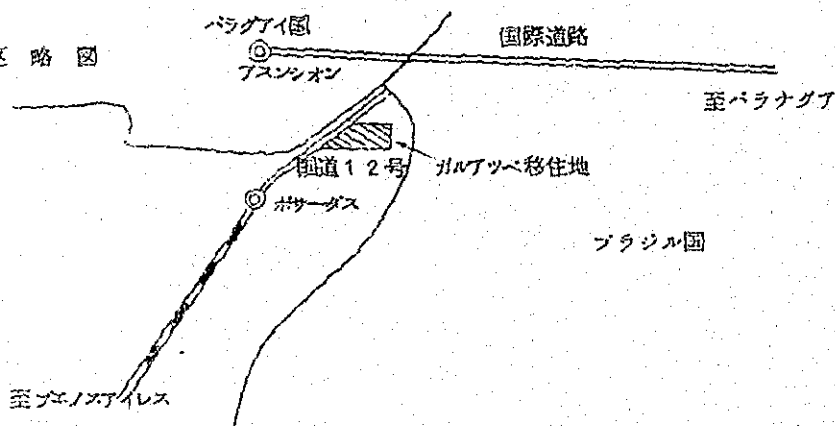
## 3. 営農

主作物	煙草、マンジョカ、茶、油桐、パラナ松、ユーカリ、柑橘類
営農状況	自家食糧及び当初の換金作物として煙草、マンジョカ、とうもろこし、豆類等を作り除々に永年作物の茶、柑橘類、油桐及びパラナ松、ユーカリ等の作付けるし、順次永年作物作付面積を増す。

## 4. 特記事項及び問題点

短期作物は利潤の高い煙草が植え付けられ、永年作としての植林は近傍に製材工場、パルプ工場もあり、その市場性は安定している。既入植者は家畜導入も除々に行つて居るが、採来畜産導入にも力を注ぐべきであろう。

## 5. 地区略図



地区名	ア ン デ ス
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	ブエノスアイレス支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	S 34°50', W 67°50'
	地形	標高約600m, 所々に起伏があるが、概して東南に向つてゆるやかな傾斜をなす平坦地である。
	地質、土壌	塩礫土を含んだ砂質土で、砂は粒子頗る細かく粘土も含んでいる。
	植生、林相	耐乾性の強い約40~70mm位の灌木類が密生しており、巨木はない。
気候	1年を通じ最も暑い時期が1月で最高平均気温24.6℃、最も寒いのは7月で最低平均気温は8.6℃となっている。7~3月頃に1~2回雪の降ることがある。	

社会条件	交通	サンラフアエル市(約90km)、ブエノスアイレス市まで週2回飛行便(約5時間)、移住地より14km、ヘネラル、アルベアル市を起点としてブエノスアイレス市、メンドサ市、サンラフアエル市に至る鉄道及びアスファルト道路がある。メンドサ市へは毎日2回汽車便(約5時間半)、ブエノス市へは週4回(急行で17時間)の汽車便の他、メンドサ市へ長距離バスを運行している。
	市場	ヘネラルアルベアル市(14km, 人口3万)、ブエノスアイレス市(80km)、メンドサ市(州都)300km, サンラフアエル市(90km, 人口10万)。
	医療、教育	ハイメブラフツ町(約5km)病院、ヘネラルアルベアル市に総合病院の他10数軒の開業医あり。 小学校が移住地2kmにあり、他にハイメブラフツ町に大きな小学校あり、ヘネラルアルベアル市には小、中学校、農業専門学校、看護婦養成学校がある。



## 2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数												11	13	1	25	24戸
総面積	約1,300Ha															
ロッテ面積	1ロッテ平均10Ha															
土地価格	一括払1,200,000円 分割払1,713,000円															
支払条件	分割払の場合 頭金120,000円 7年据置4年年賦 賦金額398,250円															

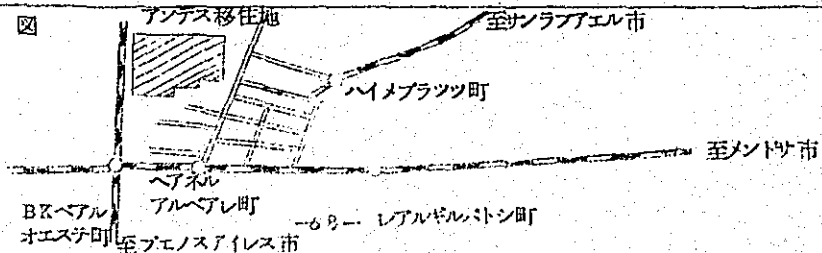
## 3. 営農

主作物	ブドウ、桃、梨等の果樹とトマト、ピーマン、玉葱等
営農状況	入植後直ちに住宅を建築し、耕地内の灌漑水路を整備し、永年作物としてブドウ、桃、梨、スモモ等を植え、短期作物としてトマト、ピーマン等の野菜及び飼料作物を栽培する。この様にして永年作物を主体として畜産加味の多角営農を行う方向にある。尙本地方は温帯果樹（ブドウ、モモ、ナシ等）に好適であり、ブドウの栽培面積はメンドサ州では全国の7割を占めている。

## 4. 特記事項及び問題点

この地帯の農業は、日本内地におけるそれと全く異なり、土地利用の前に如何に水の合理的利用を基本としているかの現状を注意して着手しなければならない灌漑農業であり、この経験を有する者には、最も好適な移住という事ができる。又霜害の恐れがあるので、入植初期の段階では充分これに注意することが望ましい。39年の霜害と40、41年の降雹により営農に手ひどい打撃を受けた。

## 5. 地区略図



地 区 名	ウルキツサ
移 住 形 態	自営開拓農（亜国政府）
受入世話機関	ブエノスアイレス支部

### 1. 地 区 概 要

自 然 条 件	位 置	S 35°, W 58°
	地 形	なだらかな起伏ある平坦地
	地質、土壌	俊透性のあるくだけやすい中位の土地、耕土は40cm程度で有機質に富み肥沃である。
	植生、林相 気 候	草原で野性あざみ等が所々に群生している。 温帯性気候である。夏期は日中35℃位上昇するが、夜間は急に冷えこむことあり。冬期は零下3～4℃まで下るが日中は15℃位まで上り、比較的温暖である。年間雨量1,400mm

社 会 条 件	交 通	入植地入口より1kmでメルチヨル、ロメロ町に出られる。ロメロ町からはラブラタ市（州都、人口35万人）までは鉄道又はアスファルト道路を走るバス便が頻繁にあり。ラブラタ市よりはブエノスアイレス（約50km）その他各方面に交通網が広がっている。
	市 場	ブエノスアイレス市、ラブラタ市等大市場に直経してあり、生産物は即日トラックで市場に運ばれる。
	医療、教育	入植地中央部に州立小学校が設置されている。ロメロ市には総合病院、郵便局、警察があり、各種商店も揃っている。高等教育はラブラタ市、ブエノスアイレス市の学校を利用する事になる。

## 2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数												17	4	4	25	25戸
総面積	600Ha															
ロッテ面積	7~2Ha															
土地価格	分割払 1,455,000円 (標準価格) 倉庫付き															
支払条件	頭金20%, 残金は15年分割払, 利息は残額について年7%で6ヵ月毎に支払い, 又支払の度に総額の1%を手数料として支払い。															

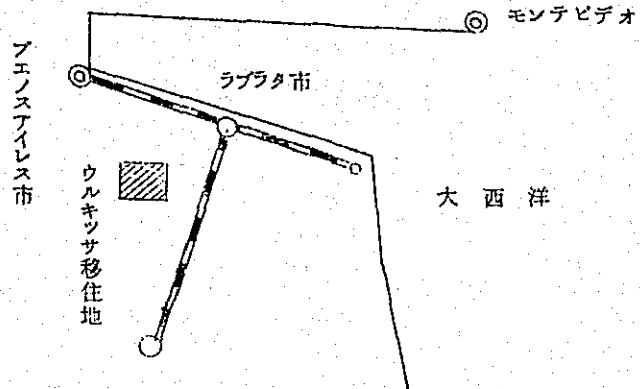
## 3. 営農

主作物	蔬菜, 花卉, 麦, トウモロコシ
営農状況	大消費地をひかえているため, 生鮮, 蔬菜及び花卉の生産を主とした営農を行う。

## 4. 特記事項及び問題点

当入植地はアルゼンチン政府農事審議会の直輸入植地で, 全ロッテ数は86, 日本人25戸の外, スペイン, イタリア, ポルトガル, その他各国系人が入植している国際色豊かな入植地である。

## 5. 地区略図



## パラグアイ国

地区名	イグアス
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	アスンシオン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	アルトパラナ県エルナンダリア郡にあり、S 25°、W 55°15'
	地形	標高平均250m、地域の北端をイグアス河、南端をモンダウ河が流れて かり、両河川の沿岸部は低地ですが分譲対象地の大部分は波状台地となつ ている。
	地質、土壌	玄武岩及び輝緑岩を母岩とする赤色の植土・低地、湿地には黒色土壌があ る。
	植生、林相 気候	ところどころ草原があるが、大部分は多くの有用樹を含む原生林である。 平均気温14.9℃、最高平均20.8℃、最低平均8℃ 冬期は降霜をみる。降雨は年間1,285mm

社会条件	交通	アスンシオン市まで286km 国際大橋まで33.5km アスンシオンへの急行バス(所要時間5時間30分)1日10回 普通バス1日10回
	市場	アスンシオン市、その他
	医療、教育	診療所1、小学校2が地区内にある。

2. 入 植 状 況

年 度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸 数									14	2	25	34	29	104	104	
総 面 積	87,763 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格	一括払400,000円 分割払616,000円															
支払条件	分割払の場合、頭金40,000円 9年据置5年年賦 賦金額115,200円															

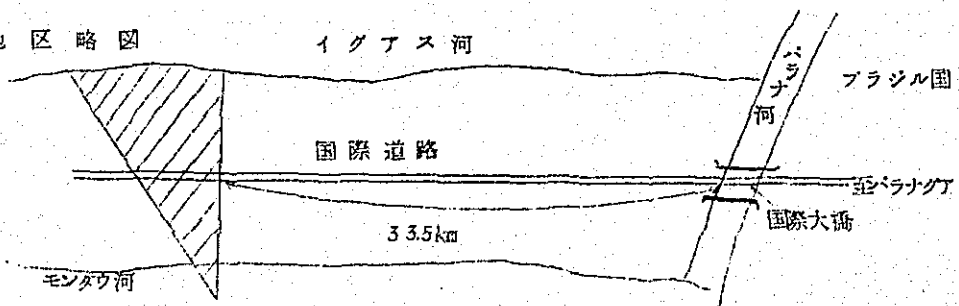
3. 営 農 計 画

主 作 物	短期作物、棉、大豆、トモロコシ、稻、マンジョカ、馬鈴薯 永年作 柑橘、植林、畜産、肉牛、豚
営農のすめ方	国内市場が狭いので当初は自給体制の確立、衆牛の飼育に重点を置き逐次永年作物の植付け、肉牛を増していく息の長い営農を行う。

4. 特記事項及び問題点

本移住地は第2トメアスとらんで重点推進移住地であり、現在全国より募集中である。  
 イグアス試験農場に新たに畜産普及センターを村設し防疫、経営伝習、草地改良、人工授精サービスを行う。  
 本移住地を対象とした東北村建設計画、高知県物部村集国移住計画についても具体策が進められている。

5. 地 区 略 図



地区名	チャベス
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	アスンシオン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	イタプア県エンカルナシオン市より北方16km
	地形	パラナ河沿の500～1000m丘陵地。地形は波状形の台地で、植民地内の小河川は台地よりかなり掘り下げられて低く森林に覆われている。
	地質、土壌	地質は輝緑岩の風化岩を母材とし、土質はテラロシアと呼ばれる肥沃なものである。
	植生、林相	大部分原始林であつたが、現在は全く開発されて農耕地となつている。
	天候	年間平均22℃。1月16℃～38.5℃、8月0.2℃～30.5℃ 5～9月降霜がある。年間雨量700～1700mm

社会条件	交通	アスンシオン市までバス1日3回運行
	市場	エンカルナシオン市、その他、ブエノスアイレス
	医療、教育	地区内に小学校が2校ある。

## 2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数			19	59			1	1	1						78	94
総面積	68000Ha (チャベス国有植民地)															
ロッテ面積	20Ha															
土地条件	満植															
支払条件	"															

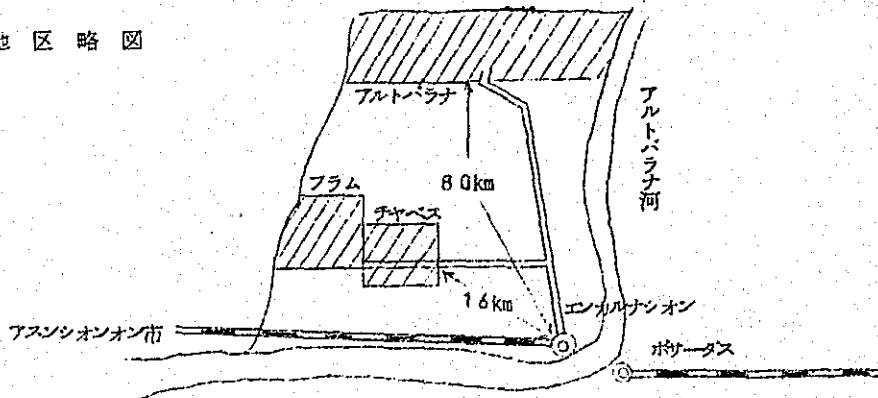
## 3. 営農状況

主作物	永年作 油桐, 柑橘, 畜産 短期作 棉, 大豆, マンジョカ, 蔬菜
営農状況	永年作(主に油桐)が最盛期に入るまでのつなぎとして棉, 大豆, 蔬菜を栽培し, 肉牛導入体制準備, 永年作の増殖に向っている。 油桐植付面積 1.196Ha, 1戸平均 12Ha

## 4. 特記事項及び問題点

バラグアイ移住地共通の問題として国内市場が狭小である。アルトパラナ・フラム移住地よりエンカルナシオンに近いため近郊農業的傾向がみられる。

## 5. 地区略図



地 区 名	フ ラ ム
移 住 形 態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	アスンシオン支部

1. 地 区 概 要

自 然 条 件	位 置	チャベス地区に同じ
	地 形	
	地質, 土壌	
	植生, 林相 気 候	

社 会 条 件	交 通	チャベス地区にほぼ同じ  診療所 1, 小学校 6, 中学校 1
	市 場 医療, 教育	



2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数					81	158	86	14	25						355	285
総面積	1,605.7 Ha															
ロッテ面積	2.5 Ha															
土地価格	満植															
支払条件	"															

3. 営農状況

主作物	チャベス地区に同じ
営農状況	

4. 特記事項及び問題点

5. 地区略図

チャベス地区参照

地区名	アルトバラナ
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	アスンシオン支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	パラグアイ国第2の都市エンカルナシオンより地区の入口まで80km
	地形	標高150~200mの波状形の緩傾斜の地帯である。
	地質、土壌	母岩は輝緑岩で土壌はテラロシアである。 酸度は中性
	植生、林相	原始林に覆われたところである。有用材が多い。草原は極めて少ない。
	気候	年間平均21~23℃、最高30~32℃、最低10℃ 降霜をみることもある。年間雨量700~1,700mm 亜熱性で乾期と雨期との明瞭な区別がない。

社会条件	交通	エンカルナシオン市まで80km、バス1日数回、当国の建築した道路良好
	市場	チャベス地区に同じ
	医療、教育	診療所1、小学校4

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数									154	130	40	26	43	16	409	345
総面積	83,580 Ha															
ロッテ面積	30 Ha															
土地価格	一括払350,000円 分割払539,000円															
支払条件	分割払の場合 頭金35,000円, 9年据置5年年賦 賦金額100,800円															

3. 営農状況

主作物	チャベス地区に同じ
営農状況	

4. 特記事項及び問題点

39年度実施の航空測量のあとを受けて、40年度においては実施設計等、基本計画樹立のための作業を行っている。

5. 地区略図

チャベス地区参照

地区名	アマンバイ移住地
移住形態	雇用移住者（現在独立自営農）
受入世話機関	アスンシオン支部

### 1. 地区の概況

自然条件	位置	パラグアイ国ベドロフアン市近郊
	地形	標高700m, 平坦, ゆるやかな起伏がある。
	地質, 土壌	黒色玄武岩を母岩とする赤褐色ラテライト化土壌で, 表層は腐植質に富み黒色を呈している。
	気候	熱帯圏に属しているが標高の関係で亜熱帯的であり年間平均気温19.8℃である。数年に1度降霜がある。
	植生	森林地帯は有用木を混じた処女林が多い。

社会条件	交通	アスンシオン市とは航空路とパラグアイ河による船便, ブラジル側はノロエヌテ線の分線の終点ポントポランより, サンパウロまで鉄道便あり。
	市場	ベドロフアン市, ポントポラン市を主としている。 特殊産物はアスンシオン市, サンパウロ市に販路がある。
	医療, 教育	ポントポラン市に総べて完備している。

## 2. 入植状況

入植戸数	131戸
総面積	2,600Ha
ロツテ面積	Ha
土地価格	
支払条件	

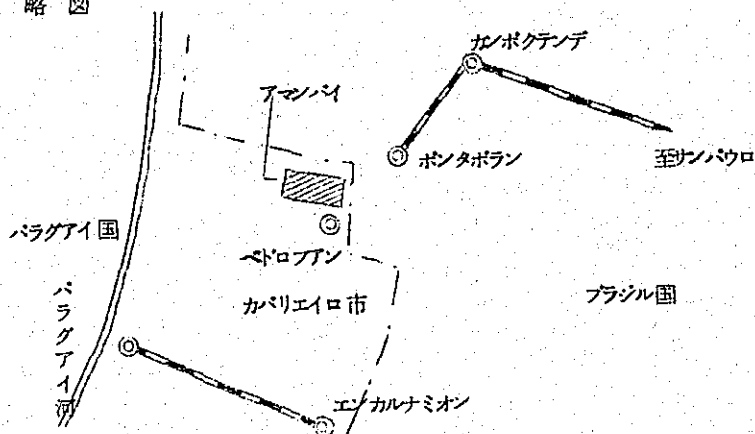
## 3. 営農状況

主作物	永年作物, コーヒー, 果樹類 短期作物, 大豆, 陸稲, フェジヨン, 棉, 馬鈴薯, 小麦, ハツカ
営農状況	独立後4年余であるが1戸当り6,000本平均のコーヒー植付が完了しており, 本年度より収穫期に入り安定度は非常に高い。

## 4. 特記事項

本地区はコーヒー主体で土地も肥沃, 立地条件が甚だ秀れているものにとつて注目すべき所であるが現在は公募の形をとっていないので呼寄せ移住形式によつて取扱つている。  
戦後雇用移住者によつて自主的に作られた移住地である。

## 5. 地区略図



# ボリビア国

地区名	サンフアン
移住形態	自営開拓農(事業団)
受入世話機関	サンタクルス支部

## 1. 地区概要

自然条件	位置	S 17°20', W 63°50'
	地形	大部分は平坦で小川により浅谷が南東から北西に走っている。
	地質, 土壌 植生, 林相	沖積層台地で砂土, 土壌が混交, pH 4.5~5.6 モタク, アルメンドリーリヨ, マラ, オーチヨ, タヒーゴ等の熱帯樹木が 繁茂し, 沼沢地を除き林相は密である。
	気候	雨期12~3月, 28℃, 乾期5~9月21℃。 年間降雨量2,000mm

社会条件	交通	サンタクルス市より移住地まで約125kmの国道が通っており, そのうち モンテローまで55kmはアスファルト舗装されている。 入植地内道路は全ロットに通じている。又サンタクルス市より入植地マン ター(12km地点)まで1日1往復, 他に入植地入口までは1日3往復の バス便がある。
	市場	サンタクルス市(人口約8万人)が最も近い市場であり, この他コチャバ ンバ市(10万人, サンタクルス市より500km), ラバス市(40万人, サンタクルス市より1,000km)が産米の主な販売市場となっている。
	医療, 教育	入植地センターに診療所(入院可能)があり, 日本人医師が駐在している。 小学校は入植地内に6校あり, センターに中学校1校がある。

2. 入植状況

年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数			2	14	0	67	67	0	78	53	0	16	0	1	297	263戸 1,506名
総面積	35,288.54 Ha															
ロッテ面積	1戸50 Ha															
土地価格	無償															

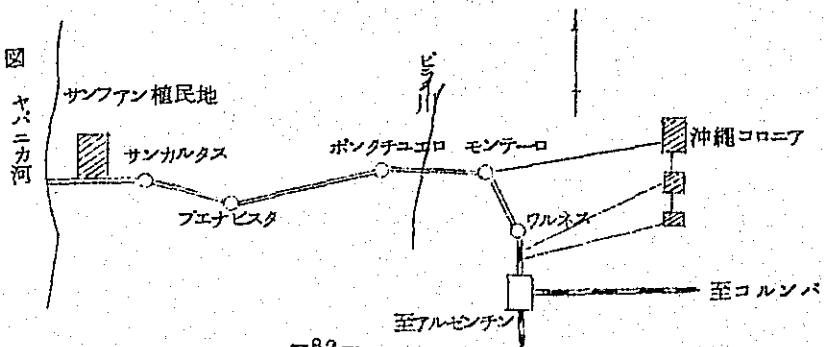
3. 営農

主作物	陸稲、トウモロコシ、大豆、柑橘
営農状況	換金作物としての陸稲に養豚、養鶏を併せた営農形態が現状であるが、機械化営農と有畜化(牛)が当面の目標である。

4. 特記事項及び問題点

道路	既成道路の本格的改修工事をすでに開始しており、排水路工事も着工の選びとなっている。
営農	今までの焼畑農法を打破するため、ブルドーザー、トラクターによる機械化営農に移行する段階にきており、すでに日本からの交付金によるブルドーザーも現地に到着し、早晩これが実施の予定である。この機械化による耕地造成に併行し、家畜の積極的導入を図り、有畜化、多角化農業の方向に向っている。

5. 地区略図



# ドミニカ国

地区名	ダハボン
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サント・ドミンゴ支部

## 1. 地区概要

自然条件	位置	ダハボン県ラ・ビヒア
	地形	標高50m以下、一部小丘を除き概ね平坦であるが地区東、西側に河があり西側のマサクレ河沿いは浸水をうけ易い、低地となつている。
	地質、土壌	酸性暗色の植垣土または植土であるが、特に河沿低地帯は肥沃である。
	植生、林相	浸水地帯は椰子その他巨木が密生し、その他の部分は喬木、かん木の混つた森林となつている。
	気候	年平均25.9℃、最高28.4℃、最低22℃である。年間1,200～1,300mmで1～3月は乾期で降雨は極端に少ない。

社会条件	交通	地区より西方2.5kmにダハボン、モンテクリステイ間のアスファルト道路で連絡しており1日2回のバスが連絡してゐる。
	市場	ダハボンまで6.5km、モンテクリステイ市まで27.5km。 ダハボン市及びサンチャゴ市(人口16万、地区西方150km)が主な市場。
	医療、教育	



2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数				30	28										58	29
総面積	1,200 Ha															
ロッテ面積	各戸平均6 Haを所有, その他18~24 Haの借地をしている。															
土地価格	所有地はドミニカ国政府の供与による。															
支払条件	"															

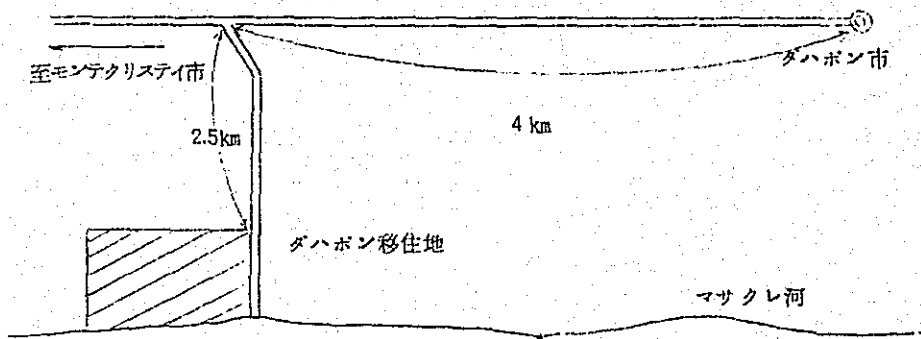
3. 営農

主作物	水稲, その他野菜
営農状況	価格変動の少ない米作を中心に野菜栽培を加味した営農を行っている。

4. 特記事項及び問題点

昭和39年7月ド国政府より地権は下付されているが, 耕地拡大と水利に制限があること。

5. 地区略図



地区名	コンスタンサ
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サントドミンゴ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ラベガ県コンスタンサ
	地形	標高 1.2 0 0 m, 国土のほぼ中央の山岳地帯の盆地に在り, 地形一部を除き平坦である。
	地質, 土壌	土壌は黒色又は黒褐色の植土で腐植にとみ, 酸性である。表土 5 0 m 前後である。
	植生, 林相 気 候	周辺地帯は針葉樹が繁茂しており, 殊に松材は良質のものが得られる。 気候冷涼で避暑地として有名で, そのかんきよりは欧州を思わせるものがある。最高平均 2 5. 8 ℃, 最低平均 1 0. 9 ℃, 年平均 1 8. 3 ℃ (1 月が最も寒く, 8 月が最も暑い。) 冬季雨量少く, 夏季雨量最多である。年平均 1. 0 6 0 mm 前後。

社会条件	交通	コンスタンサ市 (人口約 1 1. 0 0 0 人), 地区はこの町外れにありハラバコア町 (人口約 5, 0 0 0 人) 地区東北方 4 8 km, サンチャゴ市 (人口約 1 6 万人) 地方北方 1 2 1 km, ラベガ市 (人口約 1 1 万人) 地区東北方 7 7 km, サントドミンゴ市 (人口約 2 7 万人) 地区南方 1 8 4 km。
	市場	移住地内で商人に販売するが, 或いはトラックでラベガ, サンチャゴ, サントドミンゴの市場で販売する。
	医療, 教育施設 その他	町に小学校, 診療所が整っている。 入植後 1 0 年で地権獲得。 2 地区にわかれている。ハボネサ地区とサビーナ地区。

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数					29	1		5							35	20
総面積	約470Ha															
ロツテ面積	ハボネサ地区平均6Ha・サビーナ地区平均3Ha															
土地価格	ド国政府の供与による。															
支払条件	"															

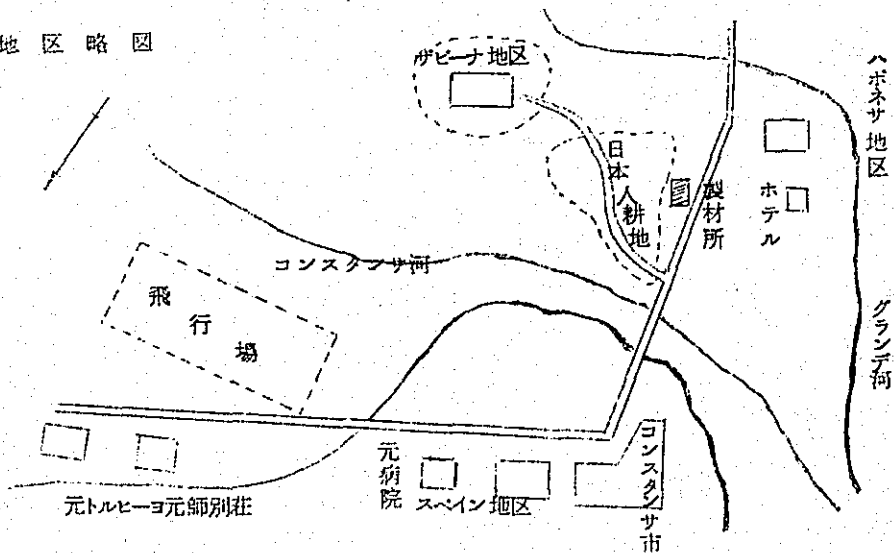
3. 営農

主作物	キャベツ、赤カブ、トマト、イチゴ、ナスその他野菜
営農のすすめ方	冷涼地帯である特殊性を利し、多肥集約農法による野菜栽培を行なう。

4. 特記事項及び問題点

イ	本年11月地落付が行なわれるので、長期営農計画を樹立する必要がある。
ロ	野菜連作による土地肥沃度の低下。

5. 地区略図



地区名	ハラバコア
移住形態	自営開拓農
受入世話機関	サントドミニコ支部

### 1. 地区概要

自然条件	位置	ラベガ県ハラバコア
	地形	標高600m。本地区はドミニカ国中央山脈からその北側にある穀倉地帯シバオ平原に至る中間の台地にあつて北方以外の三方を丘に囲まれている。
	地質、土壌	表土40～50cmで黒褐色の豊土または植豊土で酸性、石灰岩質の礫が多く含まれている所もある。
	植性、林相	本地区付近は樹高20m以上の木からなる森林地帯であり、椰子類が多く含まれている。
	気候	最高平均29.3℃、最低平均16.3℃、年平均22.8℃ 雨量年平均1,456mm

社会条件	交通	サントドミニゴ市北北西160km、サンチャゴ市南南東60km ラベガ市北西29km、ハラバコア町南方1km
	市場	コンスタンサと同じ
	医療、教育	ハラバコア地区に病院、学校がある。

2. 入植状況

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	計	定着戸数
戸数							16								16	16
総面積	900Ha															
ロッテ面積																
土地価格	ドミニカ国政府の供与による															
支払条件	#															

3. 営農

主作物	米・トマト、その他野菜
営農状況	安定作物である米を一定面積作付し、後は市場価格をにらみ合せながら投機的トマト、野菜栽培を行っている。

4. 特記事項及び問題点

イ.	地権の確保（入植後10年後に地権下付）
ロ.	土地拡大がほとんど不可能
ハ.	ド国人入植者との接触

5. 地区略図

